



VeriTrans 4G

VeriTrans4G インターフェース詳細

～ワンクリック継続課金サービス～

Ver. 1.0.17 (2025年04月～)

目次

第 1 章	本ドキュメントについて	4
1-1	本ガイドの内容	4
1-2	関連ドキュメント	4
1-3	著作権、および問い合わせ先	4
1-4	改訂履歴	4
第 2 章	MDK インターフェース詳細	9
2-1	会員管理機能	9
2.1.1	サービスタイプ "account"(会員情報)	10
2.1.2	サービスタイプ "recurring"(継続課金管理)	11
2.1.3	サービスタイプ "cardinfo" (登録カード管理)	11
2-2	3D セキュアを伴わない会員・カード登録	12
2-3	3D セキュアを伴う会員・カード登録	13
2.3.1	登録方法	13
2.3.2	要求電文	15
2-4	登録済みの会員 ID を使用した決済	15
2-5	会員管理オブジェクト(payNowIdResponse)について	16
第 3 章	結果通知	18
3-1	課金結果通知	18
3-2	洗替結果通知	19
第 4 章	CSV ファイルフォーマット	21
4-1	会員情報登録	21
4.1.1	会員登録 CSV ファイル	22
4.1.2	会員登録結果 CSV ファイル	24
4-2	会員 ID 紐付	25
4.2.1	会員 ID 紐付依頼 CSV ファイル	25
4.2.2	会員 ID 紐付結果 CSV ファイル	27
4-3	継続課金登録	28
4.3.1	継続課金結果 CSV ファイル	28
4-4	決済登録	30
4.4.1	決済登録依頼 CSV ファイル	30
4.4.2	決済登録結果 CSV ファイル	34
4-5	洗替対象クレジットカード情報登録	37
4.5.1	洗替結果 CSV ファイル	37
4.5.2	洗替の有効性判定結果について	38
4-6	会員 ID コピー	39
4.6.1	会員 ID コピー依頼 CSV ファイル	39
4.6.2	会員 ID コピー結果 CSV ファイル	41

4-7 共通	43
4.7.1 エラーCSV ファイル(会員情報登録).....	43
4.7.2 エラーCSV ファイル(会員 ID 紐付、決済登録)	44
4.7.3 エラーCSV ファイル(会員 ID コピー).....	44

第1章 本ドキュメントについて

1-1 本ガイドの内容

株式会社 DG フィナンシャルテクノロジーが提供する「ワンクリック継続課金サービス」をインターネット店舗などに導入する開発者向けに、電文インターフェース、CSV ファイルフォーマットを記載しています。

1-2 関連ドキュメント

タイトル	概要
VeriTrans4G 開発ガイド	VeriTrans4G の概要と、MDK(Merchant Development Kit)の導入方法等が記載されています。
VeriTrans4G インターフェース詳細～(サービス名)～	VeriTrans4G で利用可能な各決済サービスのインターフェース詳細が記載されています。
VeriTrans4G 開発ガイド別冊 ワンクリック継続課金サービス 会員管理機能 インターフェース詳細	VeriTrans4G ワンクリック継続課金サービス 会員管理機能において利用できる電文のインターフェース仕様が記載されています。
VeriTrans4G 開発ガイド別冊 本人認証(3D セキュア 2.0) ご利用ガイド	VeriTrans4G 3D セキュアのインターフェース詳細が記載されています。
ワンクリック継続課金サービス 運用ガイド	VeriTrans4G ワンクリック継続課金サービスの運用者ならびに開発者向けに、運用スケジュール(処理フロー)、ファイルフォーマット(CSV)、メールフォーマット等が記載されています。
MDKトークン 開発ガイド	MDKトークンを利用して決済を行うために必要な情報が記載されています。

1-3 著作権、および問い合わせ先

[著作権]

本ドキュメントの著作権は株式会社 DG フィナンシャルテクノロジーが保有しています。

Copyright © 2025 DG Financial Technology, Inc., a Digital Garage company. All rights reserved.

[お問い合わせ先]

株式会社 DG フィナンシャルテクノロジー ベリトランス テクニカルサポート

電子メール: tech-support@veritrans.jp

1-4 改訂履歴

2017/04 :Ver1.0.0 リリース

2017/07 :Ver1.0.1リリース

「第4章 CSV ファイルフォーマット」 会員 ID に使用できる文字の説明を追加

「3-2 洗替結果通知」 結果通知の対象の説明を追加

「4.5.5 洗替の有効性判定結果について」を追加

2017/08 :Ver1.0.2 リリース

「2.2.2 クレジットカード決済実行時の会員 ID 管理と決済機能」の要求パラメータの表に「仮登録フラグ(tempRegistration)」を追加

2017/12 :Ver1.0.3 リリース

- 「3-2 洗替結果通知」 cardCheckStatus の説明を修正
- 以下の CSV ファイルの文字コードについて補足追記
 - 「4.1.1 会員登録 CSV ファイル」
 - 「4.1.2 会員登録結果 CSV ファイル」
 - 「4.3.1 継続課金結果 CSV ファイル」
 - 「4.5.1 洗替依頼 CSV ファイル」
 - 「4.5.2 洗替依頼受付成功 CSV ファイル」
 - 「4.5.3 洗替結果 CSV ファイル(洗替依頼ファイルから洗替を実施した場合)」
 - 「4.5.4 洗替結果 CSV ファイル(ストアした情報から洗替を実施した場合)」
 - 「4.6.1 エラーCSV ファイル(会員情報登録、洗替対象クレジットカード情報登録)」
- 以下の CSV ファイルに CSV 作成時の注意事項を追記
 - 「4.2.1 会員 ID 紐付依頼 CSV ファイル」
 - 「4.4.1 決済登録依頼 CSV ファイル」
- 「第 4 章 CSV ファイルフォーマット」 SFTP についての注意事項等を追記
- 「4.4.1 決済登録依頼 CSV ファイル」 再取引で会員 ID を指定したときの仕様を追記
- 「4.5.1 洗替依頼 CSV ファイル」ファイル名に関する注意事項を追加
- 「4.5.5 洗替の有効性判定結果について」 出力項目の修正
- 以下の CSV ファイルにファイル配置先を追記
 - 「4.6.1 エラーCSV ファイル」
 - 「4.6.2 エラーCSV ファイル」

2018/09 :Ver1.0.4 リリース

- 「2-1 会員管理機能」の会員管理コマンドの表に「Link」コマンドを追加
- 「2-1 会員管理機能」 カード登録時に 2 円与信が発生する説明を追記
- 「2.1.1 サービスタイプ “account”(会員情報)」のサービスタイプの表に「Link」コマンドを追加
- 「2.1.2 サービスタイプ “recurring”(継続課金管理)」のサービスタイプの表に「Link」コマンドを追加
- 「2.1.3 サービスタイプ “cardinfo”(登録カード管理)」のサービスタイプの表に「Link」コマンドを追加
- 「第 4 章 CSV ファイルフォーマット」 CSV ファイルの文字コード、改行コードの注意点を追記
- 「第 4 章 CSV ファイルフォーマット」 カード番号を入力して使用する場合の注意点を追記
- 「4.4.1 決済登録依頼 CSV ファイル」の取引メモ 1 の書式を修正
- 「4.4.1 決済登録依頼 CSV ファイル」の使用されるカード情報の優先順位を修正
- 「4.4.1 決済登録依頼 CSV ファイル」のパラメータ設定仕様についての補足を追記
- 「4-5 洗替対象クレジットカード情報登録」 洗替依頼 CSV に関連する項目を削除
- 「4-6 共通」 洗替依頼 CSV に関連する記述を削除

2019/03 :Ver1.0.5 リリース

- 「第 4 章 CSV ファイルフォーマット」 注意事項を追記
- 「4.1.1 会員登録 CSV ファイル」使用時の注意事項を追記
- 「4.1.1 会員登録 CSV ファイル」のカード番号の説明に注意事項を追記
- 「4.4.1 決済登録依頼 CSV ファイル」使用時の注意事項を追記
- 「4.4.1 決済登録依頼 CSV ファイル」の取引 ID の説明に補足を追記

2019/04 :Ver1.0.6 リリース

- 「2.2.2 クレジットカード決済実行時の会員 ID 管理と決済機能」の「※1:カード番号、カード有効期限、会員 ID、カード ID、トークンの設定について」にセキュリティコードが設定可能であることを追記
- 「3-1 課金結果通知」 項目の並び順について追記
- 「3-2 洗替結果通知」 項目の並び順について追記

2019/10 :Ver1.0.7 リリース

- 「4-1 会員情報登録」にフォーマットエラー有無による動作の差異を追記
- 「4-2 会員 ID 紐付」にフォーマットエラー有無による動作の差異を追記
- 「4-4 決済登録」にフォーマットエラー有無による動作の差異を追記
- 「4.4.1 決済登録依頼 CSV ファイル」に再与信と会員 ID を組み合わせて使用しないよう注意を追記

2025/04 :Ver1.0.17 リリース

- 「1-2 関連ドキュメント」 VeriTrans4G 開発ガイド別冊 本人認証(3D セキュア 2.0) ご利用ガイドを追加
- 「2-1 会員管理機能」 会員管理機能では 3D セキュアを行えない旨を追記
- 「2.1.1 サービスタイプ “account”(会員情報)」 の説明の全体的な見直し(仕様の変更はありません)
- 「2-2 会員 ID 指定による決済機能」を以下のように再編成
 - 「2-2 3D セキュアを伴わない会員・カード登録」
 - 「2-3 3D セキュアを伴う会員・カード登録」
 - 「2-4 登録済みの会員 ID を使用した決済」
 - 「2-5 会員管理オブジェクト(payNowIdResponse)について」
- 「4.4.1 決済登録依頼 CSV ファイル」 注意事項に処理に時間がかかる旨を追記

第2章 MDK インターフェース詳細

本章では、MDKを利用して「ワンクリック継続課金サービス」を利用する際に、各決済サービスの要求/応答電文(Dto)に追加で設定可能なフィールドを説明します。

※ 以降で説明する電文フィールドの表の最右列の「設定」の表記は以下の通りです。

要求電文 … 必須項目:○ 任意項目:△ 設定不可:× その他条件付:※、※n(条件は説明欄、または欄外に記入)
 応答電文 … 必ず返戻:○ 処理成功時のみ返戻:△ 返戻なし:× その他条件付:※、※n(条件は説明欄、または欄外に記入)

2-1 会員管理機能

店舗様が運営するECサイト等の利用会員(消費者)に関連付ける「会員情報(クレジットカード、継続課金の設定)」の追加や、変更、削除を行うには、以下に示す「会員管理コマンド」を実行します。

なお、会員管理コマンドでは3Dセキュアを行えないので、「2-3 3Dセキュアを伴う会員・カード登録」に記載している方法で会員登録、カード登録を行ってください。

会員管理コマンド	名称	説明
Add	追加	会員情報を追加します。
Update	変更	登録されている会員情報を変更します。
Delete	削除	登録されている会員情報を削除します。
Restore	復元	削除された会員情報の復元を実行します。
Get	取得	登録されている会員情報を取得します。
Link	紐付	会員情報とカード決済で利用したカード情報を紐付けます。
Copy	複製	登録されている会員情報を複製します。

「会員管理コマンド」を実行する際には、管理対象の「会員ID」および、下表に示す「サービスタイプ」を組み合わせで指定します。

サービスタイプ	名称	説明
"account"	会員情報	会員情報の管理、編集を行います。
"recurring"	継続課金管理	継続課金を行う際の、継続課金開始/終了、継続課金金額の管理、編集を行います。課金方式はあらかじめ登録されている必要があります。詳細は、『ワンクリック継続課金サービス 運用ガイド』を参照して下さい。 ※"recurring"(継続課金管理)では、クレジットカード支払の場合のみ継続課金の機能を提供しています。
"cardinfo"	登録カード管理	会員IDに紐付くカード情報の管理、編集を行います。

「サービスタイプ」と利用できるコマンドの対応表を以下に示します。(○:実行可能、×:実行不可)

コマンド名		Add	Update	Delete	Restore	Get	Link	Copy
サービスタイプ	"account"	○	○	○	○	×	○	○
	"recurring"	○	○	○	×	○	×	×
	"cardinfo"	○	○	○	×	○	×	×

会員管理コマンドを実行するために必要なパラメータの詳細は、別冊『ワンクリック継続課金サービス 会員管理機能 インターフェース詳細』を参照して下さい。

会員管理コマンドでカード登録を行った場合は、自動的に2円与信が発生します。この時の取引 ID は「SCREENING_xxxx」となります。パラメータ(与信実施フラグ)を利用することで、2円与信を発生させないことも可能です。与信を実施せず登録したカードはそのままでは洗替対象になりません。

会員管理コマンドを利用せずに、決済の要求と同時に会員登録を実行する機能につきましては、「エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりません。」をご参照ください。

2.1.1 サービスタイプ “account”(会員情報)

サービスタイプ“account”(会員情報)では、各コマンドによって以下の処理を行うことができます。

コマンド名	処理内容
Add	<ul style="list-style-type: none"> ・会員 ID を登録します。 ・会員 ID の登録と同時に、カード情報を紐付けることが可能です。 ・カード情報を指定した場合、カードの有効性確認が行われます。 ・カード情報と併せて継続課金情報を設定することが可能です。 <p>注) このコマンドでは 3D セキュアを実行できないため、カード情報の登録については「2-3 3D セキュアを伴う 会員・カード登録」に記載の方法をお勧めします。</p> <p>注) 継続課金情報を設定する場合は、課金グループ ID が登録されている必要があります。詳細は、『ワンクリック継続課金サービス 運用ガイド』を参照して下さい。</p>
Update	<ul style="list-style-type: none"> ・会員 ID の以下の情報を更新します。 「入会年月日」
Delete	<ul style="list-style-type: none"> ・会員 ID を削除します。「退会年月日」を指定した場合は、指定した日に削除されます。 ※この削除は「論理削除」であり、MAP で指定した期間後に「物理削除」されます。 ・「論理削除」状態では、“Restore”コマンドによって復元が可能です。 ・「論理削除」状態の会員 ID を、再度“Add”コマンドで登録することはできません。
Restore	<ul style="list-style-type: none"> ・当該会員 ID の復元を行います。「入会年月日」を設定できます。 <p>【重要】 退会した会員 ID に「別の消費者」を紐付けた場合、既に紐付けられているカード情報が利用できてしまいますので、会員 ID を別の消費者のために再利用することは、絶対に行わないでください。</p>
Get	<ul style="list-style-type: none"> ・使用できません。
Link	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の取引(元取引 ID で指定)で利用したカード情報を、会員 ID と紐付けることが可能です。 ・新規の会員 ID にカード情報を紐付けることも、既存の会員 ID にカード情報を追加することも可能です。 ・紐付けられたカード情報は、デフォルトでは標準カードとして登録されます。 ・紐付けの際に、カードの有効性確認は行いません。 ・元取引 ID に指定できる取引は、カード決済の与信まで実行された取引です。 ※与信の成功/失敗は問いませんが、3D セキュアの認証後に与信まで進んでいない取引は指定できません。 <p>(注意事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 既に会員 ID と紐付けられているカードの場合は、デフォルトではエラーとなりますが、「カード情報追加フラグ」により挙動の変更が可能です。
Copy	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい会員 ID に、複製元の会員 ID(以下、元会員 ID と呼びます)のカード情報を紐付けることができます。 ・既存の会員 ID に、元会員 ID のカード情報を追加する形で紐付けることもできます。 ・コピー先のカードには、新規にカード ID が採番されます。 (同じカード情報でも、複製元と複製先でカード ID は異なります)。 ・応答電文には、会員 ID に紐付けられた全てのカード情報を返戻します。このとき、元会員 ID から複製されたカ

<p>ードの場合、新規に採番されたカード ID と、元カード ID が返戻されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元会員 ID の標準カードのみを紐付けるか、全てのカードを紐付けるかを選択できます。 ・元会員 ID の標準カードが紐付けられたときは、そのカードが複製先の会員の標準カードになります。 ・元会員 ID を退会することが可能です。退会と同時に紐付いているカード情報を削除することも可能です。重複カードの登録チェックのオプション機能を有効にしている場合、元会員 ID は退会させるようにしてください。 <p>※重複カードの登録チェック…ある会員 ID に登録済みのカードを別の会員 ID に登録できないようにする機能</p> <p>(注意事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 元会員 ID にカード情報が存在しない場合や、複製先の会員 ID に紐付けられているカード情報しか存在しない場合はエラーとなります。 * 複製先の会員 ID に既に存在するカードについては複製処理が行われませんので、複製元のカードに設定されている「標準カードフラグ」や「洗替実施フラグ」の設定を更新する目的でのご利用はできません。

2.1.2 サービスタイプ “recurring” (継続課金管理)

サービスタイプ“recurring”(継続課金管理)では、各コマンドによって以下の処理を行うことができます。

※会員 ID が登録されていない場合は、エラーが発生しますのでご注意ください。

コマンド名	処理内容
Add	<ul style="list-style-type: none"> ・会員 ID に課金情報を紐付けて登録します。 ・課金情報の登録時に、同時にカード情報を紐付けることも可能です。カード情報を指定した場合、有効性確認が行われます。 ・当該会員 ID にカード情報が紐付けられていない場合(通常使用する“標準カード”の設定が行われていない場合)、必ず課金情報の登録と同時にカード情報を紐付け、標準カードとして設定する必要があります。 ・当該会員 ID に複数の課金情報を紐付けることが可能です。ただし、同じ課金情報(「課金グループ ID」が同一)を 2 回登録することはできません。(課金情報を削除後、同一「課金グループ ID」の課金情報を再度登録することは可能です) ※課金情報の削除時に「課金終了日」に未来日を指定した場合、課金終了日を迎えるまで同一「課金グループ ID」の課金情報を再度登録することはできません。 ※当該会員 ID に紐付ける課金情報の「課金グループ ID」は、あらかじめ登録されている必要があります。詳細は、『ワンクリック継続課金サービス 運用ガイド』を参照して下さい。
Update	<ul style="list-style-type: none"> ・会員 ID に紐付けられている課金情報を更新します。 ・課金情報の更新と同時に、カード情報を紐付けることも可能です。カード情報を指定した場合、有効性確認が行われます。ただし、カード保有者名のみ更新する場合は、有効性確認は行われません。 ・既に課金開始日を過ぎている場合、「課金開始日」を変更することはできません。 ※当該会員 ID に紐付ける課金情報の「課金グループ ID」は、あらかじめ登録されている必要があります。詳細は、『ワンクリック継続課金サービス 運用ガイド』を参照して下さい。
Delete	<ul style="list-style-type: none"> ・会員 ID に紐付けられている課金情報を削除します。 ・当該会員 ID に対し紐付けられていた課金情報を削除後、同じ課金情報(「課金グループ ID」が同一)を再度登録することは可能です。再登録する場合、“Add”コマンドを使用します。 ※「課金終了日」に次回課金日を指定すると次回継続課金処理で課金実施後、課金終了となります。
Restore	・使用できません。
Get	・会員 ID に紐付けられた課金情報を取得します。
Link	・使用できません。
Copy	・使用できません。

2.1.3 サービスタイプ “cardinfo” (登録カード管理)

サービスタイプ“cardinfo”(登録カード管理)では、各コマンドによって以下の処理を行うことができます。

※会員 ID が登録されていない場合は、エラーが発生しますのでご注意ください。

コマンド名	処理内容	
Add	<ul style="list-style-type: none"> ・会員 ID にカード情報を紐付けて登録します。 ・当該会員 ID に複数のカード情報を紐付けることが可能です。ただし、同じカード情報を 2 回登録することはできません。 （一度削除したカード情報を、再度登録することは可能です） 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定したカード情報について、有効性確認が行われます。ただし、カード保有者名のみ更新する場合は、有効性確認は行われません。 ・指定したカード情報を通常使用するカード情報とするか否かを設定できます。 ・継続課金情報の紐付け/更新を同時に実行することはできません。
Update	<ul style="list-style-type: none"> ・当該会員 ID、およびカード ID に紐付けられたカード情報を更新します。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続課金情報の操作を同時に実施したい場合は“recurring”を使用してください。
Delete	<ul style="list-style-type: none"> ・会員 ID に紐付けられたカード情報を削除します。 ・課金情報を同時に削除することはできません。課金情報の削除には“recurring”を使用してください。 ・継続課金で使用中のカード情報を削除することはできません。 	
Restore	<ul style="list-style-type: none"> ・使用できません。 	
Get	<ul style="list-style-type: none"> ・会員 ID に紐付けられたカード情報を取得します。 	
Link	<ul style="list-style-type: none"> ・使用できません。 	
Copy	<ul style="list-style-type: none"> ・使用できません。 	

2-2 3D セキュアを伴わない会員・カード登録

3D セキュアを行わずに、決済と同時に会員登録、カード登録を行う方法を説明します。**カード利用者の厳格な本人確認が行われる業態や強力な不正利用対策が実施されている場合以外、この方法での登録は行わないでください。**通常は「2-3 3D セキュアを伴う会員・カード登録」に記載した方法で登録を行ってください。

以下の電文に、必要な要求パラメータを設定して決済を行います。

対象サービス	コマンド	電文名 (Dto)
クレジットカード決済	Authorize (与信)	CardAuthorizeRequestDto

インターフェースの詳細は『VeriTrans4G インターフェース詳細～クレジットカード決済～』を参照してください。

トークンまたはカード番号＋カード有効期限の設定は必須です。

上記ガイドに記載されている必須項目と以下のパラメータを設定して登録を行います。

要求電文 : CardAuthorizeRequestDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
accountId	会員 ID	半角英数字 100 桁以内	<p>新しい会員 ID を指定した場合は、会員登録が行われます。既存の会員 ID を指定した場合は、カードが追加されます。与信失敗の場合、会員 ID とカードの登録は行われません。</p> <p>会員 ID には、半角英数字以外に“.”(ドット)、“-”(ハイフン)、“_”(アンダースコア)、“@”(アットマーク)も使用可能です。</p>	○
defaultCard	標準カードフラグ	半角数字 1 桁	<p>“1”: 指定されたカードを標準カードにする (デフォルト)</p> <p>“0”: 標準カードの設定を変更しない</p> <p>※未設定時は“1”です。</p> <p>「標準カード」とは、カード情報を決済要求時に指定しなかったときに使用されるカードのことです。</p> <p>“1”の場合、指定したカードが新たに標準カードになります。</p> <p>“0”の場合、標準カードは変更されません。今までの標準カードが今後も標準カードとして利用されます。</p>	△
※以下は、継続課金データの登録を行う場合に設定				

groupId	課金グループ ID	半角英数字 50 桁以内	継続課金対象の課金グループ ID ※事前に登録済みの課金グループ ID のみ指定可能 ※"."(ドット)、"-"(ハイフン)、"_"(アンダースコア)が使用可能	※1
startDate	課金開始日	半角数字 8 桁	継続課金の処理を開始する日付 (YYYYMMDD 形式) ※初回課金される日付ではありません。 指定された課金グループ ID の課金スケジュールでの処理を開始する日付を指定します。	※1
endDate	課金終了日	半角数字 8 桁	継続課金の処理を終了する日付 (YYYYMMDD 形式) ※最後に課金される日付ではありません。 指定された課金グループ ID の課金スケジュールでの処理を終了する日付を指定します。	※1
oneTimeAmount	初回課金金額	半角数字 8 桁 以内	継続課金時の初回の課金金額 課金グループに設定されている金額とは異なる金額で決済したい場合に設定します。	※1
recurringAmount	継続課金金額	半角数字 8 桁 以内	継続課金時、2 回目以降の決済金額 課金グループに設定されている金額とは異なる金額で決済したい場合に設定します。 ※初回課金金額が指定されている場合、1 回目の課金時に、ここで指定した金額は利用されません。	※1

※1:継続課金データの登録について

クレジットカード決済と同時に継続課金データの登録を行う場合に使用します。

会員 ID (accountId) に新規の会員 ID を設定した場合は、任意項目となります。

会員 ID (accountId) に設定した会員が、既存会員 (既にワンクリック継続課金サービスの会員管理機能にて管理されている) の場合、設定不可項目となります。既存会員の継続課金データを登録したい場合は、「2-1 会員管理機能」をご利用ください。

- トークンを設定した場合、トークン生成時に入力されたカード番号、カード有効期限で決済を行います。トークン設定時はカード番号・カード有効期限は設定できません。
- トークンを使用せずにカード情報を直接設定する場合は、カード番号、有効期限の2つを必ず一緒に設定して下さい。どちらか一方のみを指定した場合は、エラーが発生します。
- カード ID は設定できません。カード ID は弊社で採番した値を返戻します。
- 新規の会員 ID を指定した場合は、カード決済に成功すると、会員 ID とカードの登録が行われます。
- 既存の会員 ID を指定した場合は、カード決済に成功すると、会員 ID にカードが追加登録されます。標準カードフラグを未設定時または"1"に設定した場合は、追加されたカードが標準カードになります。

2-3 3D セキュアを伴う会員・カード登録

2.3.1 登録方法

会員管理機能だけでは 3D セキュアを行うことができません。(MpiAuthorize を使用する必要があります)

3D セキュアを伴う会員・カード登録の方法には大きく分けて 2 種類あります。

- 1) 3D セキュアを実施後に「会員 ID 紐付」を利用して会員・カードを登録する
- 2) 3D セキュアおよびカード決済の結果に応じて自動で会員・カードを登録する

細かく分けると 4 つの方法 ([A] ~ [D]) があります。下表に示すそれぞれの特徴を参考に、どの方法を利用するかをご検討ください。

※推奨は [B] の方法です。

	登録タイミング	要求電文 ・指定パラメータ	登録結果 の取得可 否	カード ID の取得可 否	会員 ID 検 索可否 (MAP)	注意事項
[A]	決済後にカードを登録	MpiAuthorize ・会員 ID を指定しない + AccountLink	○	○	×	この方法では、MAP(管理画面)で会員 ID を指定した検索ができません。
[B]	決済後にカードを登録 (推奨)	MpiAuthorize ・会員 ID を指定する ・tempRegistration: "2" + AccountLink	○	○	○	この方法を推奨します。
[C]	決済成功時にカードを登録	MpiAuthorize ・会員 ID を指定する ・tempRegistration: "1"	×	×	○	レスポンスや結果通知で登録結果(カード ID)を取得できません。
[D]	3D セキュアの認証前にカード を登録 (認可の成功時)	MpiAuthorize ・会員 ID を指定する ・tempRegistration: "0"	○	○	○	本人認証、与信の結果を問わずカードが登録されます。 (無効なカードが登録される可能性があります。)

以下に、それぞれの方法についての詳細を説明します。

[A] 3D セキュアを実施後に「会員 ID 紐付」で会員・カード登録を行う(3D セキュアの取引に会員 ID 情報を登録しない)

まず、MpiAuthorizeRequestDto に会員 ID および仮登録フラグ(tempRegistration)を設定せずに 3D セキュアと決済を実施します。決済が成功(3D セキュアが成功かつ与信成功/有効性確認成功)の場合に会員登録を行ってください。会員登録は、会員管理機能の会員 ID 紐付(AccountLinkRequestDto)を使用します。

- ✓ MpiAuthorizeRequestDto の決済サービスオプションタイプを"mpi-none"とした場合は、カード決済(CardAuthorizeRequestDto)が成功した後に、会員 ID 紐付けを実行してください。

課金グループ ID を紐付けたい場合は会員 ID 紐付の後に、継続課金登録(RecurringAddRequestDto)を実行します。

[B] 3D セキュアを実施後に「会員 ID 紐付」で会員・カード登録を行う(3D セキュアの取引に会員 ID 情報を登録する)

まず、MpiAuthorizeRequestDto に会員 ID を設定し、仮登録フラグ(tempRegistration)を["2": カードを登録しない]に設定して 3D セキュアと決済を実施します。この場合、3D セキュアと決済の処理が成功してもカード情報の登録は行われません。3D セキュアと決済の処理成功後に会員 ID 紐付(AccountLinkRequestDto)を使用して会員・カード登録を行ってください。

- ✓ MpiAuthorizeRequestDto の決済サービスオプションタイプを"mpi-none"とした場合は、カード決済(CardAuthorizeRequestDto)が成功した後に、会員 ID 紐付けを実行してください。

課金グループ ID を紐づけたい場合は会員 ID 紐付の後に、継続課金登録(RecurringAddRequestDto)を実行します。

[A]と同じ処理フローになりますが、異なる点として、決済要求時に会員 ID を含めるため、MAP で会員 ID 指定の取引検索が可能になります。

[C] 3D セキュアおよびカード決済成功時に会員・カード登録が行われる

MpiAuthorizeRequestDto に会員 ID を設定し、仮登録フラグ(tempRegistration)を["1": 仮登録扱いとする]にすると、本人認証が成功し、クレジットカードの有効性が与信によって確認されたカードのみが登録されます。ただし、決済の結果を取得するインターフェース(結果通知やブラウザを介した結果の連携)では、カード登録の結果(登録の成否およびカード ID)や継続課金登録の結果を取得できません。カード登録や継続課金登録結果の詳細を取得するためには、別途、会員管理機能のインターフェースを利用して後から取得する必要があります。

[D] 3D セキュア実施前に会員・カード登録が行われる ※3D セキュアの導入が義務化されたため、この方法は非推奨です

MpiAuthorizeRequestDto に会員 ID を設定し、仮登録フラグ (tempRegistration) を【"0": 仮登録扱いにしない】にすると、認可 (本人認証の前処理) が成功した時点、すなわち、本人認証およびクレジットカードの有効性の確認が行われる前の時点でカードが登録される挙動になります。**その時点で使用できないカードが登録される場合があります。**

そのため、認証や与信が NG となった場合には、必ず登録されたカードの削除や、継続課金登録の解除を行ってください。

2.3.2 要求電文

3D セキュアは以下の電文を利用します。

対象サービス	コマンド	電文名 (Dto)
3D セキュア	Authorize (認可)	MpiAuthorizeRequestDto

インターフェースの詳細は『VeriTrans4G 開発ガイド別冊 本人認証 (3D セキュア 2.0) ご利用ガイド』を参照してください。

トークンまたはカード番号+カード有効期限の設定は必須です。

上記ガイドに記載されている必須項目と以下のパラメータを設定して登録を行います。

要求電文 : MpiAuthorizeRequestDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
accountId	会員 ID	半角英数字 100 桁以内	[B][C][D]の方法で登録する場合のみ指定します。 詳細は「2-2 3D セキュアを伴わない会員・カード登録」の「accountId」を参照してください。	△
tempRegistration	仮登録フラグ	半角数字 1 桁	3D セキュア (本人認証+カード決済) の利用時のカード情報 (および継続課金データ) 登録のタイミングを指定します。 "0": 仮登録扱いにしない (認可が成功した時点でカード情報を登録する) "1": 仮登録扱いとする (認可成功時点では仮登録とし、カード決済の成功時にカード情報を本登録する) "2": カードを登録しない (3D セキュアの処理が成功しても、カードを登録しない) ※未設定時は"0"です。 ※"2"を指定すると、カード登録は行われませんが、取引 ID と会員 ID の関連付けが行われます。(MAP で会員 ID を条件とした検索に、決済取引がヒットするようになります)	△
上記以外の項目は「2-2 3D セキュアを伴わない会員・カード登録」を参照してください。				

パラメータの設定、注意点については「2-2 3D セキュアを伴わない会員・カード登録」と同じになります。

2-4 登録済みの会員 ID を使用した決済

会員 ID に登録済みのカードで決済を行うには、以下の電文に、会員 ID または会員 ID とカード ID を設定します。

対象サービス	コマンド	電文名 (Dto)
クレジットカード決済	Authorize (与信)	CardAuthorizeRequestDto
3D セキュア	Authorize (認可)	MpiAuthorizeRequestDto

CardAuthorizeRequestDto のパラメータは『VeriTrans4G インターフェース詳細～クレジットカード決済～』を参照してください。

MpiAuthorizeRequestDto のパラメータは『VeriTrans4G 開発ガイド別冊 本人認証 (3D セキュア 2.0) ご利用ガイド』を参照してください。

上記ガイドに記載されている必須項目と以下のパラメータを設定して決済を行います。会員 ID を指定する場合は、各サービスの要求電文に以下のフィールドを追加してください。

要求電文				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
accountId	会員 ID	半角英数字 100 桁以内	登録済みの会員 ID を指定します。カードが登録されている必要があります。	○
cardId	カード ID	半角英数字 100 桁以内	標準カードではないカードで決済を行う場合はカード ID を指定します。	△

- 会員 ID のみ設定した場合は、標準カードが使用されます。標準カードがない場合はエラーとなります。
- 会員 ID、カード ID 以外のカード番号情報(カード番号、有効期限、トークン)は設定しないでください。
- 会員 ID に紐付けられていないカード ID を設定した場合、エラーが発生します。
- カード ID を指定し、defaultCard(標準カードフラグ)を"1"(指定されたカードを標準カードにする)に設定または defaultCard を設定しなかった場合は、決済が成功するとそのカード ID が標準カードになります。
- 会員 ID と有効期限を設定することはできません(有効期限のみを更新するような使い方はできません)。
- セキュリティコードを設定することが可能です。セキュリティコードは加盟店や決済代行会社で保存することは禁止されていますので、必ず消費者に入力させてください。
- 3D セキュアは消費者と接点がある決済でのみ利用可能です。加盟店起点の決済では利用できません。
- カード保有者名を設定することが可能です。カード保有者名は 3D セキュアで使用する項目です。カード ID にカード保有者名が登録済の場合でも設定可能で、設定したカード保有者名が利用されます。
- CardReAuthorizeRequestDto、MpiReAuthorizeRequestDto では動作保証しておりませんので、使用しないでください。

2-5 会員管理オブジェクト(payNowIdResponse)について

各決済サービスの要求電文に「accountId(会員 ID)」を設定した場合、応答電文にて「payNowIdResponse(会員管理オブジェクト)」が返されます。

会員 ID の登録処理結果は、payNowIdResponse オブジェクト内の各パラメータにて確認してください。

返戻される項目を以下に記載します。

応答電文				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
payNowIdResponse	会員管理オブジェクト	オブジェクト	ワンクリック継続課金サービス 会員管理機能の戻り値を格納するオブジェクト ※要求電文で会員 ID を設定した場合に、会員管理オブジェクトが返戻されます。ただし、決済パラメータ入力チェックエラーが発生した場合、会員管理オブジェクトは返戻されません。	※1
processId	会員管理処理番号	半角英数字 20 桁以内	会員管理処理を一意に識別する番号 決済サーバーより付与されます。	※1
status	会員管理ステータス	半角英数字 20 桁以内	会員管理処理要求の実行結果 "success": 成功 "failure": 失敗	※1
message	会員管理メッセージ	文字列 100 文字以内	会員管理処理要求の実行結果メッセージ	※1
account	会員情報	オブジェクト	会員情報の戻り値を格納するオブジェクト	※1

応答電文				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
accountId	会員 ID	半角英数字 100 桁以内	“(ドット)”、“-”(ハイフン)、“_”(アンダースコア)、“@”(アットマーク)も使用可能	※1
cardInfo	カード情報	オブジェクト 配列	カード情報を格納するオブジェクト	※1 ※2
cardId	カード ID	半角英数字 100 桁以内	決済サーバーにて付与されたカード ID が返戻されます。	※1 ※2
cardNumber	マスクカード番号	半角英数字 16 桁以内	カード番号の先頭 6 桁と下 2 桁のみ数字表記され、その他は “*” (アスタリスク) に変換されます。ハイフンは含まれません。(例 “411111*****11”) 要求電文の「cardNumber(カード番号)」にてハイフン含みで指定した場合も、ハイフンは含まれずに返戻されます。	※1 ※2
cardExpire	有効期限	半角英数字 5 桁	MM/YY 形式 マスクされずに返戻されます。	※1 ※2
defaultCard	標準カードフラグ	半角数字 1 桁	カード情報を明示的に指定せず決済する場合に使用するカードか否かを示すフラグ “1”: 決済時、カード情報を明示的に指定しない場合に使用されるカード “0”: 決済時、カード情報を明示的に指定しない場合に使用されるカードではない	※1 ※2
cardholderName	カード保有者名	半角英数字 記号 2 桁以上、45 桁以内	カードの名義人 マスクされずに返戻されます。	※1 ※2

※1 「payNowIdResponse」オブジェクトについて

payNowIdResponse オブジェクトは、JSON 形式で表現されています。

例えば、クレジットカード決済与信応答 (CardAuthorizeResponseDto) から会員 ID を取得する場合は、以下のようにアクセスします。

```
cardAuthorizeResponseDto.getPayNowIdResponse().getAccount().getAccountId();
```

※2 「cardInfo(カード情報)」オブジェクトについて

クレジットカード決済の与信の要求電文 (CardAuthorizeRequestDto)、本人認証の与信の要求電文 (MpiAuthorizeRequestDto) において、「accountId(会員 ID)」を指定した場合、対応する応答電文にて「cardInfo(カード情報)」オブジェクトが返戻されます。

第3章 結果通知

3-1 課金結果通知

課金結果通知は、継続課金処理失敗時(与信売上処理失敗時)のみ PUSH 送信されます。成功時は送信されません。

課金結果通知は、継続課金処理失敗となった取引について、継続課金処理当日中に決済サーバーから店舗様へ送信します。

結果通知電文インターフェースは以下のとおりです。結果通知に関するサービス共通の仕様については、『開発ガイド』を併せてご参照ください。

項番	フィールド名	項目名	書式・制限	説明
1	numberOfNotify	通知件数	半角数字 4桁以内	結果通知電文に含まれる課金処理失敗通知の総数 1度に通知可能な件数は1,000件 対象が1,001件以上ある場合は、1000件単位で複数回 PUSH 送信を行います。
2	pushTime	送信時刻	半角数字 14桁	決済サーバーから通知した時刻 YYYYMMDDhhmmss 形式
3	pushId	識別 ID	半角英数字 8桁	プッシュ処理を行うたびに採番される ID ※“-” (ハイフン)を含みます。 注) 他の決済サービスで使用された ID と重複する場合があります。
通知件数分下記の項番(4～12)を繰り返す。尚、フィールド名の後ろに4ケタの連番(0000～0999)を付与する。				
4	accountId	会員 ID	半角英数字 100桁以内	以下の文字を含む場合もあります。 "." (ドット)、"- " (ハイフン)、"_ " (アンダースコア)、"@ " (アットマーク)
5	orderId	取引 ID	半角英数字 100桁以内	決済サーバーにて付与された取引 ID。 以下の文字を含む場合もあります。 "- " (ハイフン)、"_ " (アンダースコア)
6	txnType	トランザクションタイプ	半角英数字 10桁以内	"recurring"
7	mstatus	処理ステータス	半角英数字 10桁以内	"failure": 課金失敗 ※通知するのは課金失敗の場合のみです。
8	txnTime	処理日時	半角数字 14桁	YYYYMMDDhhmmss 形式
9	chargeGroupId	課金グループ ID	半角英数字 50桁以内	以下の文字を含む場合もあります。 "." (ドット)、"- " (ハイフン)、"_ " (アンダースコア)
10	chargeAmount	課金金額	半角数字 8桁以内	
11	chargeDate	課金実施年月日	半角数字 8桁	YYYYMMDD 形式
12	dummy	ダミー決済フラグ	半角数字 1桁	ダミーデータを示す場合は"1"を設定

- ◇ 課金結果通知機能をご利用の場合は、MAP の各種設定変更より、継続課金失敗結果通知先 URL を設定してください。
- ◇ pushId(識別 ID)は、他の決済サービスで使用された ID と重複する場合がありますので、ユニークキーとして処理しないようにしてください。
- ◇ 項目の並び順は、必ずしも表の順序とは一致しません。

3-2 洗替結果通知

洗替結果通知は、洗替処理失敗時のみ PUSH 送信されます。処理成功時は送信されません。

洗替の有効性判定結果は、以下の 6 種類ですが、このうち PUSH の対象となるのは、'1':無効、'2':照合エラー、'5':結果データなしの 3 種類です。

- '0':有効
- '1':無効
- '2':照合エラー
- '3':仕向先なし
- '4':洗替対象外
- '5':結果データなし

PUSH 対象のであっても削除されたカードの場合は、PUSH 通知されません。

洗替結果通知は、カード会社から決済サーバーに洗替結果が届いた翌日に、洗替処理失敗となったクレジットカード情報をまとめて決済サーバーより店舗様へ送信します。

結果通知電文インターフェースは以下のとおりです。結果通知に関するサービス共通の仕様については、『開発ガイド』を併せてご参照ください。

項番	フィールド名	項目名	書式・制限	説明
1	numberOfNotify	通知件数	半角数字 4 桁以内	結果通知電文に含まれる洗替処理失敗通知の総数 1 度に通知可能な件数は 1,000 件 対象が 1,001 件以上ある場合は、1000 件単位で複数回 PUSH 送信を行います。
2	pushTime	送信時刻	半角数字 14 桁	決済サーバーから通知した時刻 YYYYMMDDhhmmss 形式
3	pushId	識別 ID	半角英数字 8 桁	プッシュ処理を行うたびに採番される ID ※“-” (ハイフン)を含みます。 注) 他の決済サービスで使用された ID と重複する場合があります。
通知件数分下記の項番(4～11)を繰り返す。尚、フィールド名の後ろに 4 ケタの連番(0000～0999)を付与する。				
4	accountId	会員 ID	半角英数字 100 桁以内	以下の文字を含む場合もあります。 “(ドット)”、“-”(ハイフン)、“_”(アンダースコア)、“@”(アットマーク)
5	txnType	トランザクションタイプ	半角英数字 10 桁以内	“cardcheck”
6	txnTime	処理日時	半角数字 14 桁	決済サーバーにて処理された日時 YYYYMMDDhhmmss 形式
7	cardId	カード ID	半角英数字 100 桁以内	
8	cardNo	カード番号	半角数字 16 桁	カード番号の上 6 桁下 2 桁のみ数字表記され、その他は“*”でマスクされます。 (例“411111*****11”)
9	cardExpire	カード有効期限	半角英数字 5 桁	MM/YY 形式
10	cardCheckStatus	洗替ステータス	半角数字 1 桁	“1”:無効、“2”:照合エラー、“5”:結果データなし
11	dummy	ダミー決済フラグ	半角数字 1 桁	ダミーデータを示す場合は“1”を設定

VeriTrans4G インターフェース詳細 ～ワンクリック継続課金サービス～

- ◇ 洗替結果通知機能をご利用の場合は、MAP の各種設定変更より、洗替失敗結果通知先 URL を設定してください。
- ◇ pushId(識別 ID)は、他の決済サービスで使用された ID と重複する場合がありますので、ユニークキーとして処理しないようにしてください。
- ◇ 項目の並び順は、必ずしも表の順序とは一致しません。

第4章 CSV ファイルフォーマット

各機能にて店舗様と弊社サーバー間で授受を行う CSV ファイルのフォーマットを記載します。

尚、1 ファイルの最大レコード件数は、100 万件です。

また、文字コード、改行コードが以下の表に記載のものと異なる場合、エラーが発生します。

SFTP 接続にて CSV ファイルをアップロードする場合、CSV ファイルのアップロードが完了した目印として、以下のルールで作成した rec ファイル(レシートファイル)を CSV ファイルと同一ディレクトリにアップロードしてください。

・ファイル名 : アップロードした CSV ファイルと同名で拡張子を「.rec」とする。

例) CSV ファイルが「aabbcc001.csv」であれば「aabbcc001.rec」というファイル名にする。

・ファイルサイズ : 0 byte

※rec ファイルが配置されない場合、CSV ファイルの取り込みは行われません。

弊社が所定のディレクトリに結果 CSV ファイルを配置する場合もrecファイル(レシートファイル)を配置します。recファイル(レシートファイル)がファイル配置完了の目印となります。

SFTP 接続で CSV ファイルのアップロード、ダウンロードする際のファイル配置先のディレクトリは以下の仕様で決まります。

／マーチャント ID の下 2 桁/マーチャント ID の下 8 桁(先頭はアルファベットに変換)/xxxxxx

アルファベット変換ルールは次のとおりです。

0→a 1→b 2→c 3→d 4→e 5→f 6→g 7→h 8→i 9→j

CSV ファイルの文字コード、改行コードについては、各ファイルに記載されているコードで作成してください。

文字コード、改行コードが指定されているものと異なっている場合、以下のエラーが出力されます。

```
=====  
XH86,受付データチェックエラーです。ファイル名 : xxxxxxxx.csv  
XH87,ファイルフォーマットが正しくありません。(空行、空ファイル、読み込み不可)  
=====
```

※注意事項

- ・CSV ファイルにカード番号・有効期限を入力して使用する場合は、PCI-DSS 準拠が必要です。
- ・カード番号が記載された CSV ファイル(会員情報登録、決済登録依頼)を MAP からアップロードするためには、決済サーバ側での許可設定が必要となります。詳細につきましては、テクニカルサポート (tech-support@veritrans.jp) までお問い合わせください。
- ・MAP と sFTP の両方をご利用される場合は、必ずそれぞれ別のファイル名になるようにしてください。同名のファイルをアップロードした場合、想定通りの動作とならない場合がございます。

4-1 会員情報登録

「4.1.1 会員登録 CSV ファイル」にフォーマットエラー、整合性エラー¹がない場合は、レコードが処理され、「4.1.2 会員登録結果 CSV ファイル」が出力されます。(MAP ではダウンロードできません。)

「4.1.1 会員登録 CSV ファイル」にフォーマットエラー、整合性エラー¹がある場合は、レコードは処理されず、「4.1.1 エラー CSV ファイル(会員情報登録)」が出力されます。CSV ファイルを修正し、再度アップロードしてください。

*1 既に登録されている会員データの状態で、要求内容が矛盾する場合のエラーを示す。

- 例) ・入会済みの会員 ID を入会しようとした
 ・退会済みの会員 ID を更新しようとした
 ・入会済みの会員 ID を再入会しようとした

4.1.1 会員登録 CSV ファイル

会員登録に使用する CSV ファイルのフォーマットを以下に記載します。

注意事項

- ・(重要)カード番号・有効期限を入力するには、PCI DSS 準拠が必要です。
- ・会員登録 CSV ファイルでのカード登録時は、カードの有効性の確認は実施されません(与信は発生しません)。
- ・既存の会員 ID にカードを追加した場合、そのカードは標準カードにはなりません(標準カードは変わりません)。

ファイル名	半角英数字のみで任意(記号不可)	形式	CSV ファイル
文字コード	UTF-8(BOM なし)	改行コード	LF
ファイル配置先	/マーチャント ID の下 2 桁/マーチャント ID の下 8 桁(先頭はアルファベットに変換)/account/in		

項目名	書式	サイズ	必須	説明
1 行目				
レコード種別	-	-	○	"head_merchant" 固定
マーチャント ID	半角英数字	22	○	店舗様を一意に識別する ID
2 行目				
レコード種別	-	-	○	"head_account" 固定
データ種別	半角数字	1	○	"0": 本番、"1": ダミーモード
3 行目以降データ件数分				
レコード種別	-	-	○	"data_account" 固定
会員 ID	半角英数字	100	○	消費者を一意に識別する ID "."(ドット)、“-”(ハイフン)、“_”(アンダースコア)、“@”(アットマーク)も使用可能
カード番号	半角数字	16	△※1	カード番号(ハイフン無しの数字のみで指定します。) "NO_CARD" が指定された場合はカード登録しない。 16 桁未満の場合、先頭に 0 を付与する等の加工をしないでください。
有効期限	半角英数字 右記参照	5	△※1	カード有効期限(MM/YY (月 + "/" + 年)の形式 (例 "08/18"))
洗替対象フラグ	半角数字	1	△※1	「カード番号」で指定したクレジットカードを洗替対象とするか否かを指定 "0": 対象外、“1”: 対象
課金グループ ID	半角英数字	50	△※2	課金グループを一意に識別する ID デフォルトの課金グループを利用する場合も設定が必要です。 未指定の場合は「継続課金を行わない会員登録」の扱いとなります。 "."(ドット)、“-”(ハイフン)、“_”(アンダースコア)も使用可能

項目名	書式	サイズ	必須	説明
課金グループ登録種別	半角数字	1	△※2	課金グループへの処理種別 課金グループ ID が指定されている場合は必須となります。 "1":新規登録(会員に課金グループを登録する場合) "2":変更(既に登録されている情報の変更。例:継続課金額の変更) 注)課金グループ情報の変更を行うと標準カードに課金グループが紐づきます。課金に使用されるカードが変更される可能性がありますのでご注意ください。
都度/初回課金額	半角数字	8	※3	初回のみ加算する金額(入会金等) 指定がない場合は、課金グループ ID に登録された初回課金額が登録されます。
継続課金額	半角数字	8	※3	継続課金の課金額 指定がない場合は、課金グループ ID に登録された継続課金額が登録されます。
課金開始年月日	半角数字 右記参照	10	※3	継続課金を開始する年月日(YYYY/MM/DD形式) 指定がない場合は、処理当日の年月日を登録します。
課金終了年月日	半角数字 右記参照	10	※3	継続課金を終了する年月日(YYYY/MM/DD形式) 指定がない場合は9999年12月31日で登録します。
入会年月日	半角数字 右記参照	10		処理区分が"登録"、または"再入会"で指定がない場合は、処理当日の年月日を登録します。(YYYY/MM/DD形式)
退会年月日	半角数字 右記参照	10		処理種別が"退会"で退会年月日が未設定の場合は、処理当日の年月日が設定されます。(YYYY/MM/DD形式) 継続課金中の場合、強制的に退会となります。 退会年月日以降の課金は行われません。(退会年月日当日を含む)
処理種別	半角数字	1	○	会員に対する処理の種別を指定します。 "1":入会 "2":変更 "3":退会 "4":再入会 継続課金情報を登録する場合、新規会員登録を同時に行うときには"1":入会"を、すでに登録されている会員に対して登録するときは"2":変更"を指定してください。
カード保有者名	半角英数字 記号	2~45	※4	処理種別が"登録"、"変更"、"再入会"の場合は設定可能です。 ※退会時は設定不可
最終行				
レコード種別	-	-	○	"footer_account"固定
データ件数	半角数字	8	○	会員登録データ件数

※1 カード番号、有効期限、洗替対象フラグは揃って未設定もしくは設定済にしてください。ただし"NO_CARD"は除きます。

※2 課金グループID、課金グループ登録種別は揃って未設定もしくは設定済にしてください。

※3 いずれかの項目を設定する場合は、課金グループID、および課金グループ登録種別を設定してください。

※4 カード保有者名を設定しない場合、データ部末尾の「,」は設定不要となります。「,」のみ設定しても問題ありません。

【会員登録 CSV ファイルのサンプル(accountA1000000000000xxxxxx.csv)】

```
head_merchant,A1000000000000xxxxxx
head_account,1
data_account,DEFAULT_F0000001,4111111111111111,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1
data_account,DEFAULT_F0000002,5555555555555555,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1
data_account,DEFAULT_F0000003,5105105105105100,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1
data_account,DEFAULT_F0000004,5500000000000004,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1
```

```

data_account,DEFAULT_F0000005,3528000000000007,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1
data_account,DEFAULT_F0000006,3528000000000015,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1
data_account,DEFAULT_F0000007,3528000000000023,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1
data_account,DEFAULT_F0000008,3530111333300000,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1
data_account,DEFAULT_F0000009,378282246310005,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1,CARDHOLDERNAME
data_account,DEFAULT_F0000010,36666666666660,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1,
footer_account,10

```

【会員登録 CSV ファイルの登録パターン別必須項目】

	会員 ID を 登録	会員 ID と カードを 登録	会員 ID と カードと 課金グル ープを登 録	既存会員 ID にカー ドを登録	既存会員 ID にカー ドと課金 グループ を登録	既存会員 ID に課金 グループ を登録 ※1	課金グル ープ情報 の変更 ※2	退会	再入会
レコード種別	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会員 ID	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カード番号	×	○	○	○	○	×	×	×	×
有効期限	×	○	○	○	○	×	×	×	×
洗替対象フラグ	×	○	○	○	○	×	×	×	×
課金グループ ID	×	×	○	×	○	○	○	×	×
課金グループ登録 種別	×	×	1	×	1	1	2	×	×
都度/初回課金金 額	×	×	△	×	△	△	△	×	×
継続課金金額	×	×	△	×	△	△	△	×	×
課金開始年月日	×	×	△	×	△	△	△	×	×
課金終了年月日	×	×	△	×	△	△	△	×	×
入会年月日	△	△	△	×	×	×	×	×	△
退会年月日	×	×	×	×	×	×	×	△	×
処理種別	1	1	1	2	2	2	2	3	4
カード保有者名	×	△	△	△	△	×	×	×	△

必須項目:○ 任意項目:△ 設定不可:×

※1 課金グループは標準カードに紐づきます。

※2 課金グループ情報の変更を行うと標準カードに課金グループが紐づきます。課金に使用されるカードが変更される可能性がありますのでご注意ください。

4.1.2 会員登録結果 CSV ファイル

会員登録結果の CSV ファイルのフォーマットを以下に記載します。

※継続課金情報の登録が成功した場合のお知らせも「会員登録結果 CSV ファイル」にて行います。

ファイル名	会員登録依頼ファイル名 + “.success”	形式	CSV ファイル
文字コード	UTF-8(BOM なし)	改行コード	LF
ファイル配置先	/マーチャント ID の下 2 桁/マーチャント ID の下 8 桁(先頭はアルファベットに変換)/account/out		

項目名	書式	サイズ	必須	説明
1 行目				
レコード種別	-	-	○	“head_merchant”固定
マーチャント ID	半角英数字	22	○	店舗様を一意に識別する ID
2 行目				
レコード種別	-	-	○	“head_account”固定
データ種別	半角数字	1	○	“0”:本番、“1”:ダミーモード
3 行目				
結果メッセージ	全角	-	○	処理したファイル名 + “正常に処理完了しました。”
データ件数	半角数字	8	○	会員登録データ登録件数

【会員登録結果 CSV ファイルのサンプル(accountA1000000000000xxxxxx.csv.success)】

```
head_merchant,A1000000000000xxxxxx
head_account,1
accountA1000000000000xxxxxx.csv 正常に処理完了しました。,10
```

4-2 会員 ID 紐付

「4.2.1 会員 ID 紐付依頼 CSV ファイル」にフォーマットエラーがない場合は、レコードが処理され、「4.2.2 会員 ID 紐付結果 CSV ファイル」が出力されます。

「4.2.1 会員 ID 紐付依頼 CSV ファイル」にフォーマットエラーがある場合は、レコードが処理されず、「4.7.2 エラー CSV ファイル(会員 ID 紐付、決済登録)」が出力されます。CSV ファイルを修正し、再度アップロードしてください。

4.2.1 会員 ID 紐付依頼 CSV ファイル

元取引 ID と会員 ID を紐付けて会員登録およびカード登録を依頼する際に使用する CSV ファイルのフォーマットを以下に記載します。

ファイル名	半角英数字のみで任意(記号不可)	形式	CSV ファイル
文字コード	Shift-JIS	改行コード	CRLF
ファイル配置先	/マーチャント ID の下 2 桁/マーチャント ID の下 8 桁(先頭はアルファベットに変換)/linkaccount/in		

項目名	書式	サイズ	必須	説明
1 行目				
レコード種別	-	-	○	“10003”固定
データ種別	半角数字	1	○	“0”:本番、“1”:ダミーモード
2 行目				
レコード種別	-	-	○	“21000”固定
マーチャント ID	半角英数字	22	○	店舗様を一意に識別する ID
3 行目以降データ件数分				

項目名	書式	サイズ	必須	説明
レコード種別	-	-	○	"42001"固定 旧バージョンは"42000"固定
会員 ID	半角英数字	100	○	消費者を一意に識別する ID "."(ドット)、"-"(ハイフン)、"_"(アンダースコア)、"@"(アットマーク)も使用可能
取引 ID	半角英数字	100	○	元取引 ID
入会年月日	半角数字	8		YYYYMMDD 形式 未指定の場合は当日で登録します。
標準カードフラグ	半角数字	1		標準カードフラグ "1": 標準使用されるカードとして登録する。 "0": 標準使用されるカードとして登録しない。 未指定の場合は標準仕様されるカードとして登録します。
洗替対象フラグ	半角数字	1		クレジットカードを洗替対象とするか否かを指定 "0": 対象外、"1": 対象 未指定の場合は洗替対象とします。
カード保有者名	半角英数字 記号	2~45		カード保有者名 この項目は 2022 年 6 月に追加されました。旧バージョンにはありません。
最終行-1 行				
レコード種別	-	-	○	"29000"固定
マーチャント毎データ件数	半角数字	8	○	店舗様毎の取引 ID 依頼データ件数
最終行				
レコード種別	-	-	○	"90003"固定
データ総件数	半角数字	8	○	取引 ID 登録データ総件数

※CSV 作成の注意事項

- ・値を指定しない場合はカンマ(,)のみ記入してください。例)下記サンプルの 3 行目
- ・行の最後尾に値指定がない場合もカンマ(,)は必要です。例)下記サンプルの 4 行目

【会員 ID 紐付依頼 CSV ファイルのサンプル(linkaccount A1000000000000xxxxxx.csv)】

```

10003,0
21000,A10000000000000106XXXX
42001,account_test0001,ORDER_ID_0000001,,,
42001,account_test0002,ORDER_ID_0000002,20140501,0,0,
42001,account_test0003,ORDER_ID_0000003,20140701,0,0,CardholderName
29000,3
90003,3

```

4.2.2 会員 ID 紐付結果 CSV ファイル

元取引 ID と会員 ID を紐付けての会員登録およびカード登録結果の CSV ファイルのフォーマットを以下に記載します。

ファイル名	依頼ファイル名 + “.result”	形式	CSV ファイル
文字コード	Shift-JIS	改行コード	LF
ファイル配置先	/マーチャント ID の下 2 桁/マーチャント ID の下 8 桁(先頭はアルファベットに変換)/linkaccount/out		

項目名	書式	サイズ	必須	説明
1 行目				
レコード種別	-	-	○	“10003”固定
データ種別	半角数字	1	○	“0”:本番、“1”:ダミーモード
2 行目				
レコード種別	-	-	○	“21000”固定
マーチャント ID	半角英数字	22	○	店舗様を一意に識別する ID
3 行目以降データ件数分				
レコード種別	-	-	○	“42001”固定 旧バージョンは“42000”固定
結果ステータス	半角数字	1	○	“0”:成功、“1”:失敗
会員 ID	半角英数字	100	○	消費者を一意に識別する ID。以下の文字を含む場合もあります。 “.”(ドット)、“-”(ハイフン)、“_”(アンダースコア)、“@”(アットマーク)
取引 ID	半角英数字	100	○	元取引 ID
入会年月日	半角数字	8		登録された入会年月日 (YYYYMMDD 形式)
標準カードフラグ	半角数字	1		登録された標準カードフラグ
洗替対象フラグ	半角数字	1		登録された洗替対象フラグ
カード ID	半角英数字	100		公開カード ID
マスクカード番号	半角数字	16		マスクカード番号
有効期限	半角英数字 右記参照	5		カード有効期限 (MM/YY (月 + “/” + 年) の形式 (例 “08/18”)) マスクされずに返戻されます。
結果メッセージ	文字列	100		失敗の場合は結果メッセージ
カード保有者名	半角英数字 記号	2~45		登録されたカード保有者名 マスクされずに返戻されます。 この項目は 2022 年 6 月に追加されました。旧バージョンにはありません。
最終行-1 行				
レコード種別	-	-	○	“29000”固定
マーチャント毎データ件数	半角数字	8	○	店舗様毎の会員 ID 紐付依頼データ件数
成功データ件数	半角数字	8	○	登録が成功したデータの件数
エラーデータ件数	半角数字	8	○	登録が失敗したデータ件数
最終行				
レコード種別	-	-	○	“90003”固定
データ総件数	半角数字	8	○	会員 ID 紐付依頼データの総件数
成功データ件数	半角数字	8	○	登録が成功したデータのトータル件数
エラーデータ件数	半角数字	8	○	登録が失敗したデータトータル件数

【会員 ID 紐付結果 CSV ファイルのサンプル (linkaccount A1000000000000xxxxxx.csv.result)】

10003,0
21000,A10000000000000106XXXX
42001,0,account_test0001,ORDER_ID_000001,20141231,1,1,7SJRWD61PQUHWP222WTJZYHO,4XXXXX*****XX,11/15,,

42001,1,account_test0002,ORDER_ID_0000002,,,,,,取引 ID からカード情報を取得できませんでした。、
 42001,1,account_test0003,ORDER_ID_0000003,,1,0,,11/15,退会済みの会員です。退会日 : 2010/05/01,CardholderName
 29000,3,1,2
 90003,3,1,2

4-3 継続課金登録

継続課金情報の登録は、「会員情報登録 CSV ファイル」または「決済登録依頼 CSV ファイル」にて行います。どちらも登録済みの会員 ID に対して継続課金情報を登録することが可能です。「会員情報登録 CSV ファイル」の場合は標準カードが継続課金で使用するカードになり、「決済登録依頼 CSV ファイル」の場合は、継続課金で使用するカードをカード ID で指定することが可能です。詳細は、「4.1.1 会員登録 CSV ファイル」、「4.4.1 決済登録依頼 CSV ファイル」を参照してください。

継続課金処理の結果は、「継続課金結果 CSV ファイル」にてお知らせします。詳細は、「4.3.1 継続課金結果 CSV ファイル」を参照してください。

4.3.1 継続課金結果 CSV ファイル

継続課金結果の CSV ファイルのフォーマットを以下に記載します。

ファイル名	課金グループ ID + “_” + YYYYMMDD + “.set” ※「YYYYMMDD」は、継続課金の処理日です。(例えば毎月 10 日に継続課金する課金グループで 2017 年 8 月の継続課金結果ファイルの場合は、20170810 となります。)	形式	CSV ファイル
文字コード	UTF-8(BOM なし)	改行コード	LF
ファイル配置先	/マーチャント ID の下 2 桁/マーチャント ID の下 8 桁(先頭はアルファベットに変換)/recurring/result		

項目名	書式	サイズ	必須	説明
1 行目				
レコード種別	-	-	○	10006(固定)
データ種別	半角数字	1	○	“0”:本番
2 行目				
レコード種別	-	-	○	21000(固定)
マーチャント ID	半角英数字	22	○	店舗様を一意に識別する ID
3 行目以降データ件数分				
レコード種別	-	-	○	a2000(固定)
会員 ID	半角英数字	100	○	課金対象となる消費者の会員 ID 以下の文字を含む場合もあります。 “.”(ドット)、“-”(ハイフン)、“_”(アンダースコア)、“@”(アットマーク)
取引 ID	半角英数字	100	○	決済サーバーにて付与された取引 ID(採番規則は以下の通りです) マーチャント ID + “_” + 課金グループ ID + “_” + システムにて採番された数値 + “_” YYYYMMDD + “_” + 決済サーバーにて採番された連番
課金グループ ID	半角英数字	50	○	課金したスケジュールの課金グループ ID 以下の文字を含む場合もあります。 “.”(ドット)、“-”(ハイフン)、“_”(アンダースコア)
課金日付	半角数字	8	○	課金された日付(YYYYMMDD 形式)
課金額	半角数字	8	○	課金金額
要求売上日	半角数字	8		売上要求された日付(YYYYMMDD 形式)
メモ 1	文字列	100		取引に関するメモ情報
メモ 2	文字列	100		取引に関するメモ情報
メモ 3	文字列	100		取引に関するメモ情報

項目名	書式	サイズ	必須	説明
キー情報	半角英数字	256		RECURRING(固定)
結果コード	半角英数字	4	○	会員管理処理結果の結果コード
結果メッセージ	文字列	-	○	会員管理処理結果のメッセージ
決済結果コード	半角英数字	16	○	決済処理結果の結果コード
決済結果メッセージ	文字列	-	○	決済処理結果のメッセージ
最終行-1行				
レコード種別	-	-	○	29000(固定)
データ件数	半角数字	8	○	課金データ件数
決済成功データ件数	半角数字	8	○	決済が正常に完了したデータの件数
決済エラーデータ件数	半角数字	8	○	決済が失敗したデータ件
最終行				
レコード種別	-	-	○	90006(固定)
データ件数	半角数字	8	○	課金データ件数
決済成功データ件数	半角数字	8	○	決済が正常に完了したデータの件数
決済エラーデータ件数	半角数字	8	○	決済が失敗したデータ件

【継続課金結果 GSV ファイルのサンプル(A1000000000000xxxxxx_DEFAULT_20160415.set)】

```

10006,0
21000,A10000000000000xxxxxx
a2000,account-1460444283606,A10000000000000xxxxxx_DEFAULT_1728_1460707229576_0000001,DEFAULT,20160415,20,20160229,...
RECURRING,X001,処理が成功しました。A001000000000000,処理が成功しました。
a2000,account-1460444289896,A10000000000000xxxxxx_DEFAULT_1728_1460707229587_0000002,DEFAULT,20160415,20,20160229,...
RECURRING,X001,処理が成功しました。A001000000000000,処理が成功しました。
a2000,account-1460444295237,A10000000000000xxxxxx_DEFAULT_1728_1460707229602_0000003,DEFAULT,20160415,20,20160330,め
もめもめも121,めもめもめも221,めもめもめも321,RECURRING,X001,処理が成功しました。A001000000000000,処理が成功しました。
a2000,account-1460444300467,A10000000000000xxxxxx_DEFAULT_1728_1460707229608_0000004,DEFAULT,20160415,20,20160330,め
もめもめも122,めもめもめも222,めもめもめも322,RECURRING,X001,処理が成功しました。A001000000000000,処理が成功しました。
29000,4,4,0
90006,4,4,0

```

4-4 決済登録

「4.4.1 決済登録依頼 CSV ファイル」にフォーマットエラーがない場合は、レコードが処理され、「4.4.2 決済登録結果 CSV ファイル」が出力されます。決済結果を確認し、処理失敗となっているレコードについては適宜対応してください。

「4.4.1 決済登録依頼 CSV ファイル」にフォーマットエラーがある場合は、レコードが処理されず、「4.7.2 エラー CSV ファイル(会員 ID 紐付、決済登録)」が出力されます。CSV ファイルを修正し、再度アップロードしてください

4.4.1 決済登録依頼 CSV ファイル

決済登録を依頼する際に使用する CSV ファイルのフォーマットを以下に記載します。

注意事項

- ・(重要)カード番号・有効期限を入力するには、PCI DSS 準拠が必要です。
- ・他加盟店にてレコード件数の多い決済登録依頼 CSV ファイルがアップロードされている場合は、順番待ちとなり処理完了まで時間がかかることがあります。

ファイル名	半角英数字のみで任意(記号不可)	形式	CSV ファイル
文字コード	Shift-JIS	改行コード	CRLF
ファイル配置先	/マーチャント ID の下 2 桁/マーチャント ID の下 8 桁(先頭はアルファベットに変換)/settlement/in		

項目名	書式	サイズ	必須	説明
1 行目				
レコード種別	-	-	○	"10001"固定
データ種別	半角数字	1	○	"0":本番、"1":ダミーモード
2 行目				
レコード種別	-	-	○	"21000"固定
マーチャント ID	半角英数字	22	○	店舗様を一意に識別する ID
3 行目				
レコード種別	-	-	○	"31007"固定 旧バージョンは"31001"固定
4 行目以降データ件数分				
レコード種別	-	-	○	"32007"固定 旧バージョンは"32001"固定
サービスコマンド	半角英数字	15	○	"Authorize" : 与信 "ReAuthorize" : 再与信 "Capture" : 売上 "Cancel" : キャンセル ※"Capture"は与信取得済みの取引に対する売上処理になります。与信と売上を同時に行う場合は、サービスコマンドは"Authorize"を設定し、売上フラグを"true"に設定してください。 ※会員 ID を設定する場合は、"ReAuthorize"は使用しないでください。
取引 ID	半角英数字	100	○	オーダーID "-"(ハイフン)、“_”(アンダースコア)も使用可能
元取引 ID	半角英数字	100		再取引を行う過去取引のオーダーID
金額	半角数字	8		1 以上 99999999 以下

項目名	書式	サイズ	必須	説明
カード番号	半角数字	16		カード番号 ハイフン含みの場合は 19 桁
カード有効期限	半角英数字 右記参照	5		カード有効期限(MM/YY (月 + "/" + 年))の形式 (例 "08/18")
JPO 支払情報	半角英数字	8		2 桁以上 8 桁以下の半角英数字、 下記を設定可能 一括払い : 10 または 空白 分割払い : 61Cxx (xx : 分割回数) ボーナス払い : 21 リボルビング払い : 80
売上フラグ	半角英字	10		"true": 与信同時売上 "false": 与信のみ ※未設定時は "false" が設定される
会員 ID	半角英数字	100		取引に紐付ける会員 ID "."(ドット)、"-"(ハイフン)、"_"(アンダースコア)、"@"(アットマーク)も使用可能
カード ID	半角英数字	100		会員管理で管理しているカード情報を決済で利用する場合に指定
標準カードフラグ	半角数字	1		今後、決済時にカード情報をリクエスト含めなかった場合に、今回の決済で使用したカード情報を使用するか否かを設定 "1": 今回のカードを今後決済時使用するカードに設定 "0": この課金でのみ利用する。 ※未設定時は "1" が設定される
課金グループ ID	半角英数字	50		継続課金対象の課金グループ ID 事前に登録済みの課金グループ ID のみ指定可能 "."(ドット)、"-"(ハイフン)、"_"(アンダースコア)も使用可能
課金開始日	半角数字	8		課金を開始する日付(YYYYMMDD 形式) ※初回課金される日付ではありません。 継続課金スケジュール日程の参照を開始する日付を指定してください。
課金終了日	半角数字	8		課金を終了する日付(YYYYMMDD 形式) ※最後に課金される日付ではありません。 継続課金スケジュール日程の参照を終了する日付を指定してください。
都度/初回課金金額	半角数字	8		都度課金時、または継続課金時の初回の課金金額 都度課金の場合は、次回課金時の金額を指定 継続課金の場合は、課金グループにて指定している金額とは異なる金額で決済したい場合に設定
継続課金金額	半角数字	8		継続課金時、2 回目以降の決済金額 課金グループで指定した金額とは異なる金額で決済したい場合に設定
取引メモ 1	半角英数字	100		取引に関するメモ情報
キー情報	半角英数字	256		取引に関するキー情報 店舗様で別途管理している ID とこちらの取引を紐付けるためのキー情報を設定可 (例: 店舗様側システムの受注番号と、取引を紐付ける)
カード保有者名	半角英数字 記号	2~45		カード保有者名 この項目は 2022 年 6 月に追加されました。旧バージョンにはありません。
最終行-2 行				
レコード種別	-	-	○	"39007" 固定 旧バージョンは "39001" 固定
データ件数	半角数字	8	○	決済登録データ件数

項目名	書式	サイズ	必須	説明
最終行-1行				
レコード種別	-	-	○	“29000”固定
マーチャント毎データ件数	半角数字	8	○	店舗様毎の決済登録データ件数
最終行				
レコード種別	-	-	○	“90001”固定
データ総件数	半角数字	8	○	決済登録データの総件数

CSV ファイルによる決済は、決済サーバーの API をバッチ処理で呼び出すためのインターフェースとなっており、各パラメータの設定仕様は、決済サーバーの API の仕様に従います。API の仕様については、「VeriTrans4G インターフェース詳細～クレジットカード決済～」をご確認ください。

会員 ID (既存)、元取引 ID、カード番号・有効期限が同時に設定されている場合は、使用されるカード情報の優先順位は次のとおりです。

- ① カード番号・有効期限で設定された情報
- ② 会員に紐付いたカード情報
- ③ 元取引で使用されたカード情報

カードの登録は、決済で使用されたカード情報が未登録であった場合に、登録されます。

CSV 設定の組み合わせによって、決済に使用されるカード情報、カード登録は以下のようになります。

設定			決済	登録		
会員 ID	カード番号 有効期限	元取引 ID	決済に使用される情報	決済 結果	会員 登録	登録されるカード情報
未登録 ID			決済されない	-	×	×
未登録 ID	○		設定されたカード情報	成功	○	設定されたカード情報
				失敗	×	×
未登録 ID		○	元取引 ID に紐づいたカード情報	成功	○	元取引 ID に紐づいたカード情報
				失敗	×	×
未登録 ID	○	○	設定されたカード情報	成功	○	設定されたカード情報
				失敗	×	×
既存 ID			会員 ID に紐づいたカード情報	-	-	-
既存 ID	○		設定されたカード情報	成功	-	設定されたカードが未登録の場合、登録される
				失敗	-	×
既存 ID		○	会員 ID に紐づいたカード情報	-	-	-
既存 ID	○	○	設定されたカード情報	成功	-	設定されたカードが未登録の場合、登録される
				失敗	-	×
	○		設定されたカード情報			
		○	元取引 ID に紐づいたカード情報			
	○	○	設定されたカード情報			

※グレーのセルの組み合わせは動作保証しておりませんので、使用しないでください。

※「設定」列の空欄は、未設定(設定されていないこと)を示します。

※CSV 作成時には、以下の点に注意してください。

- ・値を指定しない場合はカンマ(,)のみ記入してください。例)下記サンプルの 4 行目
- ・行の最後尾に値指定がない場合もカンマ(,)は必要です。例)下記サンプルの 4 行目

【決済登録依頼 CSV ファイルのサンプル(settlement A1000000000000xxxxxx.csv)】

```
10001,0
21000,A10000000000000106XXXX
31007
32007,Authorize,sampleTestOrderID-001,,800,4111111111111111,12/24,,false,,,,,,,,memo-001,,CARDHOLDERNAME
32007,Capture,sampleTestOrderID-001,,800,,,,,,,,memo-002,,
32007,Authorize,sampleTestOrderID-003,,800,4111111111111111,12/24,,false,,,,,,,,memo-003,,
32007,Cancel,sampleTestOrderID-003,,800,,,,,,,,memo-004,,
32007,Authorize,sampleTestOrderID-005,,800,4111111111111111,12/24,,false,,,,,,,,memo-005,,
32007,ReAuthorize,sampleTestOrderID-006,sampleTestOrderID-005,800,4111111111111111,12/24,,false,,,,,,,,memo-006,,
39007,6
29000,6
90001,6
```

【決済登録依頼 CSV ファイルの登録パターン別必須項目】

	会員 ID で決済	会員 ID 指定して決済と課金グループ登録	再取引で決済	売上	キャンセル
レコード種別	○	○	○	○	○
サービスコマンド	Authorize	Authorize	ReAuthorize	Captuer	Cancel
取引 ID	○	○	○	○	○
元取引 ID	×	×	○	×	×
金額	○	○	○	○	△
カード番号	×	×	×	×	×
カード有効期限	×	×	×	×	×
JPO 支払情報	△	△	△	×	×
売上フラグ	△	△	△	×	×
会員 ID	○	○	×	×	×
カード ID	△	△※1	×	×	×
標準カードフラグ	△	△	×	×	×
課金グループ ID	×	○	×	×	×
課金開始日	×	△	×	×	×
課金終了日	×	△	×	×	×
都度/初回課金金額	×	△	×	×	×
継続課金金額	×	△	×	×	×
取引メモ 1	△	△	△	△※	△※
キー情報	△	△	△	△※	△※
カード保有者名	△	△	×	×	×

必須項目:○ 任意項目:△ 設定不可:×

※1 カード ID が未設定の場合は課金グループは標準カードに紐づきます。

※取引メモ、キー情報は、最後に設定した内容で更新されます。詳しくは『開発ガイド』をご参照ください。

4.4.2 決済登録結果 CSV ファイル

決済登録結果の CSV ファイルのフォーマットを以下に記載します。

ファイル名	依頼ファイル名 + “.result”	形式	CSV ファイル
文字コード	Shift-JIS	改行コード	LF
ファイル配置先	/マーチャント ID の下 2 桁/マーチャント ID の下 8 桁(先頭はアルファベットに変換)/settlement/out		

項目名	書式	サイズ	必須	説明
1 行目				
レコード種別	-	-	○	“10001”固定
データ種別	半角数字	1	○	“0”:本番、“1”:ダミーモード
2 行目				
レコード種別	-	-	○	“21000”固定
マーチャント ID	半角英数字	22	○	店舗様を一意に識別する ID
3 行目				
レコード種別	-	-	○	“31007”固定
4 行目以降データ件数分				
レコード種別	-	-	○	“32007”固定
処理結果コード	半角英数字	32	○	“success”: 正常終了 “failure”: 異常終了 “pending”: 保留
詳細結果コード	文字列	16	○	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の処理結果を表します。
エラーメッセージ	文字列	100	○	処理結果を日本語で表示します。
電文 ID	文字列	100	○	決済サーバーが決済処理電文(内部処理も含む)毎に付与する ID 1 つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。
取引 ID	文字列	100	○	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID
取引毎に付く ID	文字列	100	○	決済サーバーがオーダー(取引 ID)と紐付ける為に採番する ID
MDK バージョン	半角英数字	5	○	電文のバージョン
カードトランザクションタイプ	文字列	6		
ゲートウェイ要求日時	文字列	14		ゲートウェイが要求電文を受け取った日時 YYYYMMDDhhmmss 形式
ゲートウェイ応答日時	文字列	14		ゲートウェイが応答電文を返した日時 YYYYMMDDhhmmss 形式
センター要求日時	文字列	14		カード決済センターが要求電文を受取った日時 YYYYMMDDhhmmss 形式
センター応答日時	文字列	14		カード決済センターが応答電文を返した日時 YYYYMMDDhhmmss 形式
ペンディング	文字列	1		“0”:なし “1”:あり
ループバック	文字列	1		“0”:なし “1”:あり
接続先カード接続センター	文字列	5		決済サーバー⇒カード会社間の接続センター名 ‘jcn’
センター要求番号	文字列	7		

項目名	書式	サイズ	必須	説明
センターリファレンス番号	文字列	7		
要求カード番号	文字列	16		要求電文に設定した値 上6桁下2桁のみ数字表示され、その他は"*"(アスタリスク)に変換されます。(例 "411111*****11")
要求カード有効期限	文字列	5		要求電文に設定した値 全桁"*"(アスタリスク)に変換されます。(例 "*****")
要求取引金額	文字列	12		要求電文に設定した値 ※Cancelで決済金額を指定しない場合は、全額が設定されます。
要求仕向け先コード	文字列	2		仕向け先コード(acquirerCode)と同一の値
要求支払種別情報	文字列	83		要求電文に設定した値
要求同時売上	文字列	5		要求電文に設定した値
応答リターン参照番号	文字列	12		カード会社との通信時にシステム内部で利用する番号
応答承認番号	半角英数字	7		カード会社が発行する承認番号
アクションコード	文字列	3		カード会社との通信時に返戻されたコード値
応答センターエラーコード	文字列	3		カード会社における結果コード(例 "G12")
応答与信期間	文字列	3		
仕向け先コード	文字列	2		店舗が加盟店契約をしているカード会社のコード 最終的に決済を行うカード発行会社ではなく、決済要求電文が最初に仕向けられる加盟店管理会社です。
会員管理処理番号	半角英数字	20		会員管理処理要求を一意に識別する番号
会員管理ステータス	半角英数字	20		会員管理処理要求の実行結果 "success": 成功 "failure": 失敗
会員管理メッセージ	文字列	100		会員管理処理要求の実行結果メッセージ
会員 ID	半角英数字	100		","(ドット)、"-"(ハイフン)、"_"(アンダースコア)、"@"(アットマーク)も使用可能
カード ID	半角英数字	100		決済サーバーにて付与されたカード ID
マスクカード番号	半角数字	16		カード番号の上6桁下2桁のみ数字表示され、その他は"*"(アスタリスク)に変換されます。(例 "411111*****11")
カード有効期限	半角英数字 右記参照	5		カード有効期限(MM/YY (月 + "/" + 年)の形式 (例 "08/18")) マスクされずに返戻されます。
標準カードフラグ	半角数字	1		今後、決済時にカード情報をリクエスト含めなかった場合に、今回の決済で使用したカード情報を使用するか否かを設定 "1": 今回のカードを今後決済時使用するカードに設定する。 "0": この課金でのみ利用する。 ※未設定時は"1"が設定される
課金グループ ID	半角英数字	50		継続課金対象の課金グループ ID ","(ドット)、"-"(ハイフン)、"_"(アンダースコア)も使用可能
カード保有者名	半角英数字 記号	2~45		要求電文に設定した値
最終行-2行				
レコード種別	-	-	○	"39007"固定
データ件数	半角数字	8	○	決済登録データ件数
成功データ件数	半角数字	8	○	登録が成功したデータ件数
エラーデータ件数	半角数字	8	○	登録が失敗したデータ件数
最終行-1行				

項目名	書式	サイズ	必須	説明
レコード種別	-	-	○	"29000"固定
マーチャント毎データ件数	半角数字	8	○	店舗様毎の決済登録データ件数
成功データ件数	半角数字	8	○	登録が成功したデータ件数
エラーデータ件数	半角数字	8	○	登録が失敗したデータ件数
最終行				
レコード種別	-	-	○	"90001"固定
データ総件数	半角数字	8	○	決済登録データ総件数
成功データ件数	半角数字	8	○	登録が成功したデータ件数
エラーデータ件数	半角数字	8	○	登録が失敗したデータ件数

【決済登録結果 CSV ファイルのサンプル(settlement A1000000000000xxxxxx.csv.result)】

```

10001,0
21000,A10000000000000106XXXX
31007
32007,success,A001H00100000000,処理が成功しまし
た。 ,129483,sampleTestOrderID-001,129483,2.0.0,a,20141125145854,20141125145854,20141125145854,20141125145854,0,0,,,,411111***
*****11,*****,800,05,,false,012345678901,000000,000,  ,05,,,,,12/24,,,CARDHOLDERNAME
32007,success,A001000000000000,処理が成功しまし
た。 ,129487,sampleTestOrderID-001,129483,2.0.0,pa,20141125145914,20141125145914,,,0,0,,,,,800,05,,,,000000,,  ,05,,,,,
32007,success,A001H001000000000,処理が成功しまし
た。 ,129484,sampleTestOrderID-003,129484,2.0.0,a,20141125145854,20141125145854,20141125145854,20141125145854,0,0,,,,411111***
*****11,*****,800,05,,false,012345678901,000000,000,  ,05,,,,,12/24,,
32007,success,A001000000000000,処理が成功しまし
た。 ,129488,sampleTestOrderID-003,129484,2.0.0,va,20141125145924,20141125145924,20141125145924,20141125145924,0,0,,,,,800,05,,,
012345678901,000000,000,  ,05,,,,,
32007,success,A001H001000000000,処理が成功しまし
た。 ,129485,sampleTestOrderID-005,129485,2.0.0,a,20141125145855,20141125145855,20141125145855,20141125145855,0,0,,,,411111***
*****11,*****,800,05,,false,012345678901,000000,000,  ,05,,,,,12/24,,
32007,success,A001H001000000000,処理が成功しまし
た。 ,129486,sampleTestOrderID-006,129486,2.0.0,a,20141125145904,20141125145904,20141125145904,20141125145904,0,0,,,,411111***
*****11,*****,800,05,,false,012345678901,000000,000,  ,05,,,,,12/24,,
39007,6,6,0
29000,6,6,0
90001,6,6,0

```

4-5 洗替対象クレジットカード情報登録

4.5.1 洗替結果 CSV ファイル

洗替結果 CSV ファイルのフォーマットを以下に記載します。

※2015年01月以降の仕様です。旧仕様についてはお問い合わせください。

ファイル名	"id_" + "MID" + "_" + "YYYYMMDD" + ".cardcleaning" ※「ストアした情報」とは、決済サーバーにて保持している会員 ID に紐付いた情報です。 ※「YYYYMMDD」は、ストアした情報から洗替依頼データを作成した日付です。				
形式	CSV ファイル	文字コード	UTF-8(BOM なし)	改行コード	LF
ファイル配置先	/マーチャント ID の下 2 桁/マーチャント ID の下 8 桁(先頭はアルファベットに変換)/cardcleaning/result				

項目名	書式	サイズ	必須	説明
1 行目				
レコード種別	-	-	○	"head_merchant" 固定
マーチャント ID	半角英数字	22	○	店舗様を一意に識別する ID
洗替依頼日時	半角英数字	14	○	洗替処理を依頼した日時 YYYYMMDDhhmmss 形式
2 行目				
レコード種別	-	-	○	"head_cardcleaning" 固定
3 行目以降データ件数分				
レコード種別	-	-	○	"data_cardcleaning" 固定
店舗管理 ID	-	-		常に空で返戻されます。
店舗管理備考	-	-		常に空で返戻されます。
カード番号	半角数字	16	○	カード番号 ※カード番号の先頭 6 桁と下 2 桁のみ数字表示され、その他は "*" (アスタリスク) に変換されます。(例 "411111*****11")
有効期限	半角英数字 右記参照	5	○	カード有効期限 (MM/YY (月 + "/" + 年) の形式 (例 "08/18"))
会員 ID	半角英数字	100		会員 ID 以下の文字を含む場合もあります。 "." (ドット)、 "-" (ハイフン)、 "_" (アンダースコア)、 "@" (アットマーク) ※洗替結果ファイル出力までに退会した会員の場合、空で返戻される場合があります。
新カード番号	半角数字	16		新カード番号 (更新時のみ設定) ※カード番号の先頭 6 桁と下 2 桁のみ数字表示され、その他は "*" (アスタリスク) に変換されます。(例 "411111*****11")
新有効期限	半角英数字 右記参照	5		新有効期限 (更新時のみ設定) (MM/YY (月 + "/" + 年) の形式 (例 "08/18"))
有効性判定結果	半角数字	1	○	有効性判定結果 "0": 有効、 "1": 無効、 "2": 照合エラー 「4.5.2 洗替の有効性判定結果について」を参照
カード ID	半角英数字	100		決済サーバーにて付与したカード情報を特定するための ID
最終行				
レコード種別	-	-	○	"footer_cardcleaning" 固定
データ件数	半角数字	8	○	洗替依頼データ件数

【洗替結果 CSV ファイルのサンプル(id_A1000000000000xxxxxx_20150805.cardcleaning)】

```

head_merchant,A1000000000000xxxxxx,YYYYMMDDhhmmss
head_cardcleaning
data_cardcleaning,,,411111*****11,08/14,account001,,,0,CARDID001
data_cardcleaning,,,411111*****11,01/16,account002,,,0,CARDID002
data_cardcleaning,,,411111*****11,01/16,account003,,,0,CARDID003
data_cardcleaning,,,411111*****11,01/16,account004,,,0,CARDID004
data_cardcleaning,,,411111*****11,01/16,account005,,,0,CARDID005
footer_cardcleaning,5

```

4.5.2 洗替の有効性判定結果について

洗替の「有効性判定結果」は 6 種類あります。

有効性判定結果		説明
0	有効	有効なクレジットカード
1	無効	無効なクレジットカード（詳細理由の開示は不可）
2	照合エラー	カード会社システムでの照合エラー（該当のクレジットカードが確認できない等。詳細理由の開示は不可）
3	仕向先なし	仕向先が判断出来ない場合や弊社が対応していないカード会社の発行カード
4	洗替対象外	加盟店様の洗替契約の対象外のカード
5	結果データなし	有効性判定期間中に該当する会員のカードが削除される、または、カード会社から結果が返戻されない

- 0:有効、1:無効、2:照合エラー は、カード会社から返戻された有効性判定結果になります。
- 3:仕向先なし、4:洗替対象外、5:結果データなし は、弊社で判定した結果です。
- 3:仕向先なし、4:洗替対象外 については、カード会社に洗替依頼を出すことができないカードになります。

洗替結果ファイルと MAP の「洗替検索結果」では、出力（表示内容）が異なります。下表に出力の有無を示します。

有効性判定結果	洗替結果 CSV ファイル	MAP の「洗替結果検索」
0:有効	○	○
1:無効	○	○
2:照合エラー	○	○
3:仕向先なし	×（出力されない）	○
4:洗替対象外	×（出力されない）	○
5:洗替データなし	×（出力されない）	○

有効性判定結果が 1:無効、2:照合エラー となったカードは、洗替対象から外されます。ただし、カード情報を変更するか、そのカードで決済を行いますと、再度、洗替対象となります。

4-6 会員 ID コピー

「4.6.1 会員 ID コピー依頼 CSV ファイル」にフォーマットエラーがない場合は、レコードが処理され、「4.6.2 会員 ID コピー結果 CSV ファイル」が出力されます。

「4.6.1 会員 ID コピー依頼 CSV ファイル」にフォーマットエラーがある場合は、レコードが処理されず、「4.7.3 エラー CSV ファイル(会員 ID コピー)」が出力されます。CSV ファイルを修正し、再度アップロードしてください。

1つの会員 ID に対して複数の元会員 ID をコピーした場合、最後にコピーした元会員 ID の標準カードがコピー先の会員 ID の標準カードになりますが、ファイル処理は、マルチスレッドで処理していますので、必ずしもファイルの記載順で処理されるわけではありません。そのため、標準カードにしたいレコードは、別ファイルにして、最後に処理するようにしてください。

4.6.1 会員 ID コピー依頼 CSV ファイル

会員 ID コピーに使用するファイルのフォーマットを以下に記載します。

ファイル名	半角英数字のみで任意(記号不可)	形式	CSV ファイル
文字コード	UTF-8 (BOM なし)	改行コード	LF
ファイル配置先	/マーチャント ID の下 2 桁/マーチャント ID の下 8 桁(先頭はアルファベットに変換)/copyaccount/in		

項目名	書式	サイズ	必須	説明
1 行目				
レコード種別	-	-	○	"head_account" 固定
データ種別	半角数字	1	○	"0":本番、"1":ダミーモード ※本番モード(本番アカウントにてデータ種別を"0")を利用する際、元会員 ID を本番モードで作成している必要があります。コピー先の会員 ID は本番会員として登録されます。 ※ダミーモード(テストアカウントを利用、または本番アカウントにてデータ種別を"1")を利用する際、元会員 ID をダミーモードで作成している必要があります。コピー先の会員 ID はダミー会員として登録されます。
ファイルフォーマットバージョン	半角数字	5	○	"V0002" 固定 ※今後ファイルフォーマットが変更になる場合は、設定値を変更する。
2 行目				
レコード種別	-	-	○	"head_merchant" 固定
マーチャント ID	半角英数字	22	○	店舗様を一意に識別する ID
3 行目以降データ件数分				
レコード種別	-	-	○	"data_account" 固定
加盟店使用欄	半角英数字	10		指定した値がそのまま結果ファイルに出力されます。 通常、依頼ファイルと結果ファイルの行は一致(依頼ファイルの N 行目のデータは結果ファイルの N 行目に出力)しますが、加盟店様にて、依頼ファイルと結果ファイルのレコードを紐づけるために利用することができます。 なお、ファイル内でのユニーク性のチェックは行われません。
会員 ID	半角英数字	100	○	コピー先の会員 ID を指定 "."(ドット)、"-"(ハイフン)、"_"(アンダースコア)、"@"(アットマーク)も使用可能
元会員 ID	半角英数字	100	○	コピー元の会員 ID を指定 "."(ドット)、"-"(ハイフン)、"_"(アンダースコア)、"@"(アットマーク)も使用可能。

項目名	書式	サイズ	必須	説明
入会年月日	半角数字	8		YYYYMMDD 形式。会員登録時に未指定の場合、当日日付が設定されます。
退会年月日	半角数字	8		元会員 ID 退会フラグを設定した場合の元会員 ID に対する操作の指定となります。 YYYYMMDD 形式。会員退会時に未指定の場合、当日日付が設定されます。
強制退会フラグ	半角数字	1		元会員 ID 退会フラグを設定した場合の元会員 ID に対する操作の指定となります。 継続課金中であっても強制的に退会するか否か指定するフラグ "0": 継続課金中の場合、退会できない。 "1": 強制的に終了する。(以降課金は継続課金は発生しない。) ※未設定時は"0"が設定されます。
カード情報削除フラグ	半角数字	1		元会員 ID 退会フラグを設定した場合の元会員 ID に対する操作の指定となります。 退会時にクレジットカード情報を削除するか否か指定するフラグ "0": クレジットカード情報を削除しない。 "1": クレジットカード情報を削除する。 ※未設定時は"0"が設定されます。
元会員 ID 退会フラグ	半角数字	1		複製時に元会員を退会するか否か指定するフラグ "0": 元会員を退会しない。 "1": 元会員を退会する。 ※未設定時は"0"が設定されます。
カード情報追加フラグ	半角数字	1		会員 ID で指定したコピー先となる会員 ID が既に存在する場合に、既存の会員 ID にカード情報を追加するか否か指定するフラグ "0": カード情報を追加しない。 "1": カード情報を追加する。 ※未設定時は"0"が設定されます。 ※このフラグに"0"を指定し、かつコピー先となる会員 ID がすでに存在する場合、コピー処理はエラーとなります。
標準カード限定フラグ	半角数字	1		複製時に標準カードのみ追加するか否か指定するフラグ "0": 元会員に紐づく全てのカード情報を追加する。 "1": 元会員に紐づく標準カードのみ追加する。 ※未設定時は"0"が設定されます。
洗替設定フラグ	半角数字	1		複製先のカード情報を洗替するか否か指定するフラグ "0": 洗替しない。 "1": 洗替する。 ※未設定時は"1"が設定されます。 ※洗替を実施しないマーチャントで複製した場合は、本項目に関わらず、洗替は行われません。
最終行-1 行				
レコード種別	-	-	○	"footer_merchant"固定
処理件数	半角数字	8	○	マーチャント毎の入力データの件数
最終行				
レコード種別	-	-	○	"footer_account"固定
処理件数	半角数字	8	○	入力データ件数

【会員 ID コピー依頼 CSV ファイルのサンプル(accountCopyA1000000000000xxxxxx.csv)】

```

head_account,0,V0002
head_merchant,A1000000000000XXXXXXX
data_account,kameiten1,account1,originalaccount1,20190514,20190515,0,0,0,0,0,0
data_account,kameiten2,account2,originalaccount2,20190516,20190517,0,0,0,0,0,0
data_account,kameiten3,account3,originalaccount3,20190518,20190519,0,0,0,1,1,1
footer_merchant,3
footer_account,3

```

4.6.2 会員 ID コピー結果 CSV ファイル

会員 ID コピー結果 CSV ファイルのフォーマットを以下に記載します。

ファイル名	会員 ID コピー依頼ファイル名 + “.result”	形式	CSV ファイル
文字コード	UTF-8 (BOM なし)	改行コード	LF
ファイル配置先	/マーチャント ID の下 2 桁/マーチャント ID の下 8 桁(先頭はアルファベットに変換)/copyaccount/out		

項目名	書式	サイズ	必須	説明
1 行目				
レコード種別	-	-	○	“head_account”固定
データ種別	半角数字	1	○	“0”:本番、“1”:ダミーモード
ファイルフォーマットバージョン	半角数字	5	○	“V0002”固定 ※今後ファイルフォーマットが変更になる場合は、設定値を変更する。
2 行目				
レコード種別	-	-	○	“head_merchant”固定
マーチャント ID	半角英数字	22	○	店舗様を一意に識別する ID
3 行目以降データ件数分				
レコード種別	-	-	○	“data_account”固定
加盟店使用欄	半角英数字	10		依頼ファイルに指定した値
詳細結果コード	文字列	16	○	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の処理結果を表します。 詳細は別途 VResultCodeList を参照して下さい。
会員管理ステータス	半角英数字	20	○	“success”:成功、“failure”:失敗
会員管理メッセージ	文字列	100	○	会員管理処理要求の実行結果メッセージ
会員 ID	半角英数字	100	※1	依頼ファイルで指定した会員 ID
カード ID	半角英数字	100	※1、2	決済サーバにて付与されたカード ID が返戻されます。 標準カードのカード ID が返戻されます。
マスクカード番号	半角数字	16	※1、2	カード番号の先頭 6 桁と下 2 桁(例“411111*****11”)のみ数字表記され、その他は “*”(アスタリスク)に変換されます。ハイフンは含まれません。
有効期限	半角数字	5	※1、2	MM/YY 形式。マスクされずに返戻されます。
標準カードフラグ	半角数字	1	※1、2	カード情報を指定せず決済する場合に使用するカードか否かを示すフラグ “0”:決済時、カード情報を明示的に指定しない場合に使用されるカードではない “1”:決済時、カード情報を明示的に指定しない場合に使用されるカード ※本機能では“1”固定で返戻されます。

元カード ID	半角数字	100	※1、2	元会員 ID に紐づいていたカード ID が返戻されます。 元々、会員 ID に紐づいていたカード情報の場合は返戻されません。
券種コード	半角英数字	10	※1、2	券種を判定するコード ※ペリトランス決済サーバに判定用の BIN とコード値を設定しておく必要がございます。詳細につきましてはお問い合わせください。
カード件数	半角数字	7	※1	会員 ID に紐づいているカードの件数 例)会員 ID に A、B、C のカードが紐づいている場合、「3」が返戻されます。
カード保有者名	半角英数字 記号	2~45		会員のカードに紐づいているカード保有者名 マスクされずに返戻されます。 この項目はファイルフォーマットバージョン「V0002」で追加されました。
最終行-1 行				
レコード種別	-	-	○	“footer_merchant”固定
処理件数	半角数字	8	○	マーチャント毎の出力データの総件数
成功データ件数	半角数字	8	○	マーチャント毎の登録が成功したデータの件数
失敗データ件数	半角数字	8	○	マーチャント毎の登録が失敗したデータの件数
最終行				
レコード種別	-	-	○	“footer_account”固定
処理件数	半角数字	8	○	出力データの総件数
成功データ件数	半角数字	8	○	登録が成功したデータの総件数
失敗データ件数	半角数字	8	○	登録が失敗したデータの総件数

※1 会員管理ステータスが“success”の場合のみ返戻されます。

※2 標準カード情報が返戻されます。会員 ID に標準カードが紐づいていない場合、値は設定されません。

【会員 ID コピー結果 CSV ファイルのサンプル(accountCopyA1000000000000xxxxxx.result)】

```
head_account,0,V0002
head_merchant,A1000000000000XXXXXXX
data_account,kameiten1,X001000000000000,success,処理が成功しまし
た。,account1,ABCDEFGHIJ,411111*****1111,05/14,1,BCDEFGHIJKL,A1000,3,
data_account,kameiten2,XH07000000000000,failure,未登録の会員です。,account2,,,,,
data_account,kameiten3,X001000000000000,success,処理が成功しまし
た。,account3,CDE123FGHI,411111*****1111,05/18,1,ABCDEFGHIJK,A1000,1,CardholderName
footer_merchant,3,2,1
footer_account,3,2,1
```

4-7 共通

4.7.1 エラーCSV ファイル(会員情報登録)

会員情報登録にて、ファイルの受付後、取り込み処理中にエラーになった場合は、以下の共通したエラーファイルが生成されます。

エラーCSV ファイルのフォーマットを以下に記載します。

ファイル名	受信ファイル名 + “.error”	形式	CSV ファイル
文字コード	UTF-8(BOM なし)	改行コード	LF
ファイル配置先	会員情報登録:/マーチャント ID の下 2 桁/マーチャント ID の下 8 桁(先頭はアルファベットに変換)/account/out		

項目名	書式	サイズ	必須	説明
1 行目				
レコード種別	-	-	○	“head_merchant” 固定
マーチャント ID	半角英数字	22	○	店舗様を一意に識別する ID
2 行目				
結果コード	半角英数字	4	○	エラー原因を表す結果コード
結果メッセージ	文字列	-	○	エラーメッセージ
3 行目以降データ件数分				
行番号	半角数字	-	○	エラーが発生したデータの行番号(データ行内の番号ではなく、依頼ファイルの行番号)
結果コード	半角英数字	4	○	その行のデータに対する結果コード
結果メッセージ	文字列	-	○	その行のデータに対する結果メッセージ

【会員登録依頼 CSV ファイルでエラーが発生したと想定した場合のサンプル】

以下の会員登録依頼 CSV ファイルをアップロード(accountA1000000000000xxxxxx.csv)

```
head_merchant,A1000000000000xxxxxx
head_account,1
data_account,DEFAULT_F0000001,4111111111111111,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1
data_account,DEFAULT_F0000002,5555555555554444,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1
data_account,DEFAULT_F0000003,5105105105105100,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1
data_account,DEFAULT_F0000004,5500000000000004,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1
data_account,DEFAULT_F0000005,3528000000000007,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1
data_account,DEFAULT_F0000006,3528000000000015,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1
data_account,DEFAULT_F0000007,3528000000000023,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1
data_account,DEFAULT_F0000008,3530111333300000,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1
data_account,DEFAULT_F0000009,378282246310005,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1
data_account,DEFAULT_F0000010,36666666666660,06/14,1,DEFAULT,1,,,,,1
footer_account,10
```

上記の accountA1000000000000xxxxxx.csv を取り込み中にエラーが発生した場合、以下のエラーファイルが生成されます。

```
head_merchant,A1000000000000xxxxxx
XH86,受付データチェックエラーです。ファイル名:accountA1000000000000xxxxxx.csv
3,XH11,入会中の会員です。
4,XH11,入会中の会員です。
```

4.7.2 エラーCSV ファイル(会員 ID 紐付、決済登録)

会員 ID 紐付、決済登録にて、ファイルの受付後、取り込み処理中にエラーになった場合は、以下の共通したエラーファイルが生成されます。

エラーCSV ファイルのフォーマットを以下に記載します。

ファイル名	受信ファイル名 + “.error”	形式	CSV ファイル
文字コード	shift-JIS	改行コード	LF
ファイル配置先	会員 ID 紐付: /マーチャント ID の下 2 桁/マーチャント ID の下 8 桁(先頭はアルファベットに変換)/linkaccount/out 決済登録: /マーチャント ID の下 2 桁/マーチャント ID の下 8 桁(先頭はアルファベットに変換)/settlement/out		

項目名	書式	サイズ	必須	説明
1 行目				
レコード種別	-	-	○	決済登録の場合: 80001 会員 ID 紐づけの場合: 80003
2 行目				
行番号	半角数字	-	○	行番号(データ行内の番号ではなく、依頼ファイルの行番号)
結果コード	半角英数字	4	○	結果コード
結果メッセージ	半角英数字	100	○	結果メッセージ
3 行目				
レコード種別	-	-	○	決済登録の場合: 90001 会員 ID 紐づけの場合: 90003

【会員 ID 紐付依頼 CSV ファイルでエラーが発生したと想定した場合のサンプル】

以下の会員 ID 紐付依頼 CSV ファイルをアップロード(linkaccount A10000000000000xxxxxx.csv)

```
10003,0
21000,A10000000000000106XXXX
42000,account_test0001,ORDER_ID_0000001,,,
42000,account_test0002,ORDER_ID_0000002,20140501,0,
42000,account_test0003,ORDER_ID_0000003,20140701,0,0
29000,3
90003,3
```

上記の linkaccount A10000000000000xxxxxx.csv を取り込み中にエラーが発生した場合、以下のエラーファイルが生成されます。

```
80003
2,XC01,パラメータは必須項目です。:レコード種別
90003
```

4.7.3 エラーCSV ファイル(会員 ID コピー)

会員 ID コピーにて、ファイルの受付後、取り込み処理中にエラーになった場合は、以下の共通したエラーファイルが生成されます。

エラーCSV ファイルのフォーマットを以下に記載します。

ファイル名	受信ファイル名 + “.error”	形式	CSV ファイル
文字コード	UTF-8(BOM なし)	改行コード	LF
ファイル配置先	会員 ID コピー: /マーチャント ID の下 2 桁/マーチャント ID の下 8 桁(先頭はアルファベットに変換)/copyaccount/out		

項目名	書式	サイズ	必須	説明
1 行目				
レコード種別	-	-	○	80004
2 行目				
行番号	半角数字	-	○	行番号(データ行内の番号ではなく、依頼ファイルの行番号)
結果コード	半角英数字	4	○	結果コード
結果メッセージ	半角英数字	100	○	結果メッセージ
3 行目				
レコード種別	-	-	○	90004

【会員 ID コピー依頼 CSV ファイルでエラーが発生したと想定した場合のサンプル】

以下の会員 ID 紐付依頼 CSV ファイルをアップロード(copyaccount A10000000000000000xxxxxxx.csv)

```
head_account,0,V0001
A10000000000000000xxxxxxx
data_account,kameiten1,accountId-new,accountId-old,,,,0,0,0,0
footer_merchant,1
footer_account,1
```

上記の copyaccount A10000000000000000xxxxxxx.csv を取り込み中にエラーが発生した場合、以下のエラーファイルが生成されます。

```
80004
2,XC04,パラメータ値の形式が不正です。:レコード種別
90004
```